

令和3年度

四街道市
子ども読書活動推進計画策定委員会
(第1回)



四街道市教育委員会

令和3年度 第1回 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会 開催要項

令和3年6月23日(水) 14:00～
四街道市役所第二庁舎 第二会議室

1 開会

2 委嘱状交付

3 指導課長挨拶(飯村 典秀 指導課長)

4 会長・副会長選出

会長	
副会長	

※会長挨拶

5 議題

(1) 第四次推進計画策定にあたって

(2) スケジュールについて

(3) 第三次推進計画についての取組、成果と課題について

(4) 「読書に関するアンケート調査」の結果について

6 諸連絡

・第2回 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会

令和3年7月14日(水) 14:00～

四街道市役所第二庁舎 第二会議室

7 閉会

委員名簿

	氏 名	備 考
1	渡辺 暢恵	東京学芸大学非常勤講師
2	米村 貴	吉岡小学校長
3	小島 佑一	山梨小学校教諭
4	保坂 もも子	四街道中学校教諭
5	小池 亮子	千代田幼稚園附属ちよだっ こルームもねの里 施設長
6	水野 由紀子	つばみ幼稚園教諭
7	安井 広子	図書館協議会委員
8	小椋 美由紀	社会教育委員
9	小野 日実子	市立図書館長
10	飯村 典秀	指導課長
11	平賀 純子	市 民
12	丸山 みどり	市 民
13	富樫 直子	市 民

※教育委員会 教育長 府川 雅司

※事務局 指導課 指導主事 角張 貴洋
指導主事 山下 恵子

子ども読書計画推進計画策定スケジュール(予定)

	作業部会	策定委員会	事務局(教育委員会指導課)
令和2年12月			アンケート調査準備開始
令和3年1月			・アンケート配布
2月	・アンケート集計		・策定委員(3名)募集(市政だより掲載) ・公募外策定委員選出依頼
3月	・アンケート結果取りまとめ		・策定委員選考決定
4月			
5月			
6月	・素案づくり	第1回委員会 23日(水) ・委員委嘱 ・計画策定の趣旨説明 ・アンケート結果の報告	
7月		第2回委員会 14日(水) ・進捗状況報告 ・推進計画(素案)協議	
8月	・計画案づくり		
9月	・計画案づくり		
10月	・計画案づくり		
11月		第3回委員会 22日(月) 推進計画(案)決定	・推進計画(案)決定
12月			パブリックコメント実施 (30日間)
令和4年1月	・パブリックコメント取りまとめ	第4回委員会 21日(金) ・パブリックコメントの結果報告 ・推進計画(案)修正	
2月	・計画案修正	第5回委員会 28日(月) 推進計画(案)決定	推進計画(案)決定
3月			

F A X 送 信 票

発 信 日	令和3年 月 日 ()	送信枚数	1枚(本票を含む)
あて先	四街道市教育委員会 指導課 角張 貴洋 宛		
	FAX番号	043-424-8923	
	令和3年度四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会意見について		
	お名前		

第三次推進計画についての取組・成果と課題

- ④・・・健康増進課
- ⑤・・・子ども保育課
- ⑥・・・図書館
- ⑦・・・指導課
- ⑧・・・社会教育課

方 策	事業号	成 果	課 題
1 家庭における推進方策	1	<p>行事や園便り等で、絵本や手遊びの紹介を行い、子ども達が楽しむ様子を伝えることができた。④</p> <p>3～4 か月児相談で、保育士によるおやおやこふれあい遊び、手遊び歌の紹介をし、親子で一緒に実施できた。また、多胎児の会や親子支援グループで手遊びや絵本の読み聞かせ、1歳6か月児健診ではここにこ文庫による読み聞かせを実施。読み聞かせ後は、保護者・子どもがその本を手取る機会を設け、待ち時間を有効活用した。子どもたちが楽しく過ごしている様子がみられた。④</p> <p>来館した乳幼児に語りかけや読み聞かせを行い、保護者に対しては読み聞かせに関する相談、情報提供に努めている。読み聞かせの講座のほか、乳幼児向けの絵本の選び方講座を始めた。出張おはなし会を保育園・子育て支援センターで、また、幼稚園の来館の際にもおはなし会を行う機会が増加した。④</p>	<p>伝え方をより工夫していくが、方向性は現状のままが妥当であるのではないかと。④</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、例年通りの働きかけができない。相談・健診人数を制限して実施しているため、出来る範囲での対応を行う。④</p>
	2	<p>子育て学習講座において、成長に合わせた子育ての中で、読み聞かせの重要性を盛り込んだ内容を提供した。④</p>	<p>令和2年度、対面による読み聞かせや、密になる行事等は開催を見合わせる事となり行うことができなかつたため、開催方法も含めて日程や回数、PRの方法など検討する。④</p> <p>子育て学習講座において講師謝礼金が付かない状況であるため、開催方法について検討が必要。④</p>

2 地域における推進方策	<p>3 地域・家庭教育事業の紹介として、読書活動の専門講師の情報提供を市PTA連絡協議会会長会において行い、窓口での企画内容の相談においても読書活動に関する企画を薦めた。㊸</p> <p>4 千葉県が発行した乳幼児向けリーフレット（家庭教育と読み聞かせの重要性記載）を3歳6ヶ月健診時に配布し、公民館等の公共施設に配架した。㊸</p> <p>親子教室において、受講生の親相互により読み聞かせを実施。回を追う毎に読み聞かせ中の子どもたちの行動や反応が豊かになるのが見受けられた。㊸</p> <p>公民館まつりでの読み聞かせ発表（土日、2回/日）を実施し、来館された親子に読み聞かせを行い、情操教育に効果的な読書活動についての啓発をすることができた。㊸</p> <p>公民館事業「寺子屋事業」内で、学生ボランティア（中学生他）と共に、参加した地域の小学生の自主学習として図書室内の図鑑や辞書を使って学習する機会を設けた。㊸</p>	<p>平成30年から、事業受託学級の企画内容に読書活動がない状況が続いている。効果的な啓発について検討が必要。㊸</p> <p>令和2年度から、公民館等への家庭教育関連リーフレット等の配架については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため設置コーナーを撤去したため中止した。今後、再開までの実施可能な広報について検討が必要。㊸</p>
	<p>5 移動図書館の巡回拠点としての小学校は9校、保育園2園となった。㊸</p>	<p>子どもにも利用しやすいステーションを増やしていくことが課題。㊸</p>

6 基本図書の買い替えを、品切絶版等に留意して進めている。特に絵本は、蔵書が新しくなったことで利用が増加した。買い替えて除籍した資料は保育所（園）や小学校へ提供している。団体へのリサイクル資料の提供は令和2年1月末現在517冊となった。㊦

7 お話会等の事業前研修、外部研修として、千葉県公共図書館協会主催の児童関連研修会等に参加。㊦

8 開館前後は児童室の書架整理や展示資料の確認をするなど、努めてフロアに出ている。学校司書の訪問レファレンスが多くなり、委託業者と連携して、速やかに対応している。㊦

9 展示は定期的に入替を行い、行事に合わせておりの本、あやとりの本、百人一首とカルタの本のブックリストを作成した。各年代向けのブックリストは良く利用されている。㊦

10 読み聞かせ学習講座を実施し、学習を続けたい方には学習会への参加などを案内した。学習会は現在2グループあり、活動継続中。㊦

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策により研修会が中止となったものが多く、参加できなかつた。㊦

委託業者には児童室に児童書に詳しいスタッフを充てるよう依頼している。㊦

行事の由来についてはレファレンスでよくあがっているもので、展示とあわせてブックリスト作成に努めたい。㊦

令和元年度は、読み聞かせボランティア向けに読み聞かせの研修会を行った。（小学校からの要請）㊦

今後も参加を呼びかけ、読書活動推進のきっかけにしていく。㊦

0・1歳児の会から2・3歳の会・おはなし会へ、どうつなげていくかが課題。また、おはなし会は小さい子の会に比べて小学生以上の大きい子の会が集まらない。㊦

令和2年度は、読み聞かせが中止になり、案内リーフの中に絵本の会のお知らせ・年齢別のおすすめ絵本のリスト・図書館の利用案内を渡している。出来る範囲での対応を行う。㊦

毎年、審査会を開催し、優秀賞・佳作を決定。(例年、感想文の優秀賞は、小学校32点、中学校4点。佳作は、小学校29点、中学校14点。感想画優秀賞は、小学校10点、佳作は、小学校13点、中学校2点)「しだれざくら」を発行し、感想画展示会を開催した。㊦

おはなし会は定期のほかにも、出張おはなし会を行うようになった。「はじめまして、絵本」の絵本の配布は、未受診者に対しても健康増進課の家庭訪問により配布率が90%超となった。㊦

3～4か月児相談の中で絵本を配布し、図書館職員による実際の読み聞かせを実施。早いうちからの読み聞かせの効果を知らない保護者もあり、良いきっかけになった。㊦

1歳6か月児健診の待合でここにこ文庫のボランティアによる読み聞かせを実施してもらった。こどもたちも興味を示し楽しんでいった。㊦

市内小中学校の図書館を訪問し、書架整理や除籍相談を行った。学校司書からの授業支援レファレンスに伴い、随時の学校団体貸出の増加につながった。㊦

11

12

13

3 学校等における推進方策	<p>1 4 年度初めに団体向け利用案内を作製し、資料の配送についても各団体の要望に合わせて行うようにしたこと、こどもルームの利用も増えた。各小学校の授業支援用の随時貸出を行い、幼稚園、保育園、こどもルーム、文庫等も定期的に貸出を行った。㊸</p> <p>1 5 親子教室において、講師から親子に向けて、また受講生の親相互により様々な方法により読み聞かせを実施。回を追う毎に、読み聞かせ中の子どもたちの行動や反応が豊かになるのが見受けられた。㊸</p> <p>1 6 公民館まつりでの読み聞かせ発表（土日、2回/日）を実施し、来館された親子に読み聞かせを行い、情操教育に効果的な読書活動についての啓発を行った。㊸</p> <p>1 7 公民館の書架の整理、本の展示、毎週1回図書館職員による本の入れ替えを行った。㊸</p> <p>1 8 図書購入時期を早め、在籍児童が新しい本とふれあう期間を確保することができた。</p> <p>1 9 指導員・ボランティアによる読み聞かせを行うことができた。今後継続して行う。㊸</p>
	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、親子教室を中止。今後、実施可能な活動を検討していく必要がある。㊸</p> <p>例年、旭公民館にて年7回の展示を行ってきたが、令和2年度は1回しかできなかった。㊸</p> <p>図書購入時期は夏休み前を設定し、購入の遅いルームに声掛けを行って100%を目指すようにする。また、さまざまに本にふれあう為に移動図書館などの活用を周知する。㊸</p> <p>図書購入時期は夏休み前を設定し、購入の遅いルームに声掛けを行って100%を目指すようにする。また、さまざまに本にふれあう為に移動図書館などの活用を周知する。㊸</p>

19	<p>季節、年齢等に合った絵本に触れ、味わうことが出来るように努めた。また、各保育室、毎月1冊絵本を購入入している。㊦</p>	<p>貸し出しの利用者は限られているため、さらなる推進が必要。㊦</p>
20	<p>ボランティアの方々による「お話の小部屋」や「絵本とお話の会」を実施している。子ども達は毎回楽しみにしている。㊦</p> <p>子育て支援センターでは「語りの会四街道」によるお話を実施した。㊦</p>	
21	<p>おすすめの絵本や手遊びについて、子どもたちの反応を含めて情報を交換し、日々の保育に生かした。㊦</p>	<p>職員間での情報交換が少なかったこともあった。今後は取り組んでいきたい。㊦</p>
22	<p>保育参加の時には保護者に絵本を読んでもらい、一緒に楽しんでもらう機会を設けていきたい。保護者からの評判も良く、引き続き続けていきたい。</p> <p>メールマガジンで発信することにより保育所入所の子どもとその保護者だけでなく、広く市内の子育て家庭に向けて絵本の選び方を伝えることができた。㊦</p>	
23	<p>市内全小中学校で読書タイムを実施し、読書時間を確保できている。また、読書タイムの際に読み聞かせも行う学校が増えている。㊦</p>	<p>読書タイムの工夫について、情報提供を行い、魅力を広めていきたい。㊦</p>
24	<p>全校に対してボランティアについて調査し、状況を把握した。また、7月の子ども読書活動推進連絡会で読み聞かせボランティアの取組について紹介し、情報交換を行った。㊦→㊧ (R2より移管)</p>	<p>令和2年度から、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、ボランティアの参加やお話会の実施が十分できなかった。今後実施可能な活動を検討していきたい。㊦→㊧ (R2より移管)</p>

25 小中学校とも、学級担任やボランティアによる読み聞かせが行われている。貸し出し予約の取組を行っている学校もあり、読みたい本を楽しみにしている様子が伺える。㊦→㊧ (R2より移管)

26 年度初めの校長会議で年間指導計画上に学校図書館利用の内容を位置付けるよう依頼した。また、合同研修会では、学校司書が年間計画や月の学習予定を把握できよう、学校図書館担当に依頼した。㊦

27 平成28年と比較すると、学校図書標準を達成している学校は増加傾向にある。また、蔵書率が下がった学校には予算を多めに配分した。また、中学校への新聞を2紙へ増加(読売中高生新聞増)。㊦

28 市主催「読書活動推進研修会」を開催し、授業における読書活動例や司書教諭を中心とした校内の読書活動推進例をもとに、研修を深めることができた。西中学校図書室において、保健体育科の教員と司書のT・Tで授業を行うという研修会を実施した。この取組の成果について、読書活動推進研修会で周知し、今後の取組の参考とすることができた。㊦

29 市内小中学校に対し、4月23日の「子ども読書の日」ポスターを配付した。各学校では、年度の始まりにあり、図書館の利用に関するオリエンテーションや、本の魅力を伝える活動等が行われた。また、読書週間の取組として、委員会活動で図書祭りなどのイベント

図書室の密を避けるため、休み時間も含め利用時間について、計画的に図書室利用を行っていく必要がある。㊦→㊧ (R2より移管)

各校での年間指導計画を把握し、有効的な実践例を周知し、さらに積極的に取り組めるようにしていく。㊦

古い本や複本が多く、計画的に入れ替えをすることがある。図書選定基準・廃棄基準の策定を進めていきたい。㊦

読書活動をテーマとした校内研修を推進するための方策を検討する必要がある。㊦

感染予防に配慮した図書行事の開催について、資料等で情報提供していく必要がある。㊦

を行う学校があり、司書への訪問時に随時情報提供することができた。㊦

3 0 小学校では、上級生による下級生への読み聞かせや自作物語の発表などが行われた。
山梨小学校の図書委員が旭幼稚園の園児に向け、大型絵本の読み聞かせを行った様子を保幼小の研修会で発表した。㊦

3 1 市立図書館から配付された新着図書のリーフレット等を参考に、各校において、おすすめの本や新着本の紹介など工夫を凝らした取組が行われた。㊦

3 2 各学校1名の学校司書を1日6時間、週2日全校に配置していることで、児童生徒への読み聞かせ、授業支援、学校図書館の環境整備等、多くの場面で充実を図ることができた。㊦

3 4 研修会を実施し、学校図書館主任、ボランティア団体と合同で行うことができた。また、研修で学んだことを実際の授業で実践し、学校司書のスキルアップを図ることができた。㊦

3 5 合同研修会の実施により、学校図書館の活用や学校司書との授業連携についての共通理解ができた。㊦

異校種での交流は管理職を含めて学校全体で計画する必要がある。㊦

四街道こどもブックリストの完成に伴い、効果的な活用方法について検討する必要がある。また、タブレット端末を活用したさらに魅力ある紹介法等を検討していきたい。㊦

勤務時間の増加について、今後も予算要望していく。㊦

今後も、市の状況を踏まえ、研修方法の内容や在り方を検討していく必要がある。㊦

授業実践のステップアップ、授業実践を活用した図書室の環境づくりの方策を検討していく。㊦

4 家庭・地域・学校等間の連携・協力の推進	<p>36 学校図書館システムを円滑に運用し、蔵書管理や貸出し管理を行うことができた。また、システム内にある掲示板（図書コミュ）を利用して、情報交換を行ったり、感染予防の掲示物等を共有したりすることができた。㊦</p> <p>37 各学校図書館（小学校）にて、四街道市子どもブックリストを掲示したり、本の展示を工夫したりした。㊦</p>	<p>パソコンの老朽化に伴う故障が発生している。㊦</p> <p>四街道市子どもブックリストの周知の方法を検討し、学校図書館の本の購入や図書館からの貸し出し等を行っていく必要がある。㊦</p>
	<p>38 市内小中学校の図書館を訪問し、書架整理や除籍相談を行った。学校司書からの授業支援レファレンスに伴い、随時の学校団体貸出の増加につながった。㊦</p> <p>39 年度初めに団体向け利用案内を作製し、資料の配送についても各団体の要望に合わせて行うことと、こどもルームの利用も増えた。各小学校の授業支援用の随時貸出を行い、幼稚園、保育園、こどもルーム、文庫等も定期的に貸出を行った。㊦</p> <p>40 インターシッピング（高校生、短大生）、図書館見学（幼稚園）、まちたんけん（小学2年生）、職場体験（中学2年生）の受け入れを実施。㊦</p> <p>41 小学校では、上級生による下級生への読み聞かせや自作物語の発表などが行われた。小学校の図書委員が園児に向け、大型絵本の読み聞かせを行った様子を保幼小の研修会で発表した。㊦</p>	<p>ボランティア団体との繋がりを絶やさず、積極的に活動を検討し、連絡や情報共有を継続して行っていく必要がある。㊦</p>

5 子ども の 読書活動に 関する理解 と関心の普及	<p>4 2 各校で読み聞かせ、本の修理、蔵書点検、環境整備等ボランティア活動が行われた。子ども読書活動推進連絡会において、ボランティア団体の取組を発表し、情報交換を行った。成果と課題を共有することで、新たな取組のヒントとなった。㊦</p> <p>4 3 各校種、団体代表者による取組発表とともに、テーマをもとに校種を超えたグループ協議・情報交換を行い、成果や課題を共有できた。また、それぞれの取組を知ること、今後の活動につなげることができた。㊦</p> <p>4 8 授業支援用図書の実装を図り、新着図書リストや授業支援図書のブックリストを作成し配布した。㊦</p> <p>4 9 3～4か月児相談の際、会場内での読み聞かせを行い、図書館のPRおよび、行事の案内を行った。リサイクル資料（絵本）を選定し提供した。㊦</p> <p>5 0 保健推進員活動として、月齢別の絵本の紹介や図書館情報等を掲載した掲示物を作成し展示した。また、4か月児相談の際には、図書館の案内リーフを配布し、図書館の場所等知らない方には場所の説明をした。小さいうちから行っていいことも合わせて説明している。㊦</p> <p>推進・担当者会議では、方向性や取組内容の確認を行い、概要や次年度への課題を共有することができた。㊦</p>	<p>今後テーマについて適切なるものを吟味し、情報交換の時間を充実させる必要がある。㊦</p> <p>四街道こどもブックリストの完成に伴い、効果的な活用方法について検討する必要がある。また、タブレット端末を活用したさらに魅力ある紹介法等を検討していきたい。㊦</p> <p>今後は、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底したうえで絵本の展示等を行う等、工夫が必要。㊦</p> <p>推進担当者会議で各課館での取り組みについて、課題等も共通理解を図る必要がある。㊦</p>
---	---	---

	5 1	<p>保育所（園）・幼稚園・子どもルーム等の団体向け図書館利用案内を配布し、サービスの情報提供を行った。㊦</p>	<p>打診のあった園について、その後連絡がない場合、こちらから働きかけたい。㊦</p>
5 2	<p>各校種、団体代表者による取組発表とともに、テーマをもとに校種を超えたグループ協議・情報交換を行い、成果や課題を共有できた。また、それぞれの取組を知ること、今後の活動につなげることができた。㊦</p>	<p>今後もテーマについて適切なものを吟味し、情報交換の時間を充実させる必要がある。㊦</p>	

読書に関するアンケート調査の結果 各課からの意見

指導課 記入者：角張 貴洋

【児童生徒用について】

- ・読書が「好き・どちらかといえば好き」は、小学2年生で90%、小5が84%、中2が75%、高2が58%であり、小中学校の児童生徒は多くの児童生徒が好きであることがわかる。また、小2、小5、中2、高2いずれも5年前の調査より上回っている。
- ・読書が「好き・どちらかといえば好き」のうち、なぜ読書が好きかの問いには小2は、「お家の人が読んでくれたから」が一番多く、小5より上になると、「友達に進められて」が一番多くなる。発達段階の様子が顕著に現れていることがわかった。
- ・読書が「あまり好きではない・好きではない」は小2で10%、小5で16%、中2で25%、高2が42%である。
- ・読書が「あまり好きではない・好きではない」のうち、なぜ好きではないのかの問いには、どの学年も「読みたい本が見つからない」と回答している。
- ・不読率（月に本を1冊も読まない児童生徒）は、小2で1%、小5で3%、中2で7%、高2で52%となった。県の調査では小6で18.0%、中3で29.1%となっており、小学生も中学生も県平均を大きく下回っている。しかし、第二次計画の目標として、不読率0%を目指していたため、今後の課題であるといえる。
- ・30分以上読書をすすめる児童生徒は、小2で40%、小5で37%、中2で39%、高2で16%となった。それぞれの学年で、5年前の調査を上回っている。県の調査では、小学校で39.8%、中学校で35%。ほぼ県平均に近い値である。
- ・「学校の読書タイムをきっかけにして本を読む時間や回数が増えたか」の問いに、「増えた・やや増えた」と回答した小5は、65%、中2は59%と読書タイムが多読へのきっかけ作りをしていることがいえる。
- ・「どこで本を読むことが多いか」の問いに、高校生は「自分の家」が一番多く、小中学生は「教室」が一番多かった。5年前の調査では、小学生は「自分の家」が一番多かった。家庭での読書の習慣、学校での読書活動の取り組みが引き続き重要となる。
- ・学校図書館（図書室）の利用については、小2は「週に1～3回程度行く」、小5は「月に1～3回程度行く」、中2、高2は、「ほとんど行かない・まったく行かない」が一番多いため、学校図書館（図書室）の利用の工夫が重要となる。
- ・本を使った調べ学習を「好き・どちらかといえば好き」と回答した小5は71%、中2は61%だった。そのうち好きな理由として、小5、中2共に「自分で調べて考えるのが好きだから」と回答した児童生徒が一番多い。
- ・本を使った調べ学習が嫌いな理由として、小5、中2ともに「調べ方やまとめ方がわからない」が一番多い。5年前の調査では、小5は、「調べる本が見つけれないから」が一番多かった。学校図書館の蔵書が充実してきていることが考えられる。また、中2は、調べ学習としての経験が少ないことが理由として考えられる。

- ・「調べたいことがあるときに何を活用しますか」の問いに小2は、本や図鑑、事典が最も多かったが、小5、中2、高2では圧倒的にインターネットを利用するという回答が多かった。インターネットによる不確かさや、図書を使った調べ学習のよさを理解させていきたい。

【保護者用について】

- ・「あなたのお子さんは本を読むことが好きだと思うか」の問いに、「好き・どちらかといえば好き」と回答した保護者は62%であり、子どもは読書が好きでも、保護者はそうではないと感じているケースがある。
- ・好きな理由として、「よく読み聞かせをしたから」が一番多い回答だった。
- ・嫌いな理由として、「文字を読むのが苦手だから」「読みたい本が見つからない」が多かった。
- ・「自分が本を読むことが好きか」の問いに「好き・どちらかといえば好き」と回答した保護者は、66%であり、保護者も児童生徒同様「本が好き」であった。
- ・「どうすれば子どもが本を読むようになるか」の問いに、「図書館に連れて行く」、「本についての情報を知らせる」が多い回答だった。発達段階に応じ、年齢が幼い子を持つ親ほど能動的な関わりを必要であると考えている。そのため、小学校低学年では読み聞かせの重要性、小学校高学年では学校図書館の有効的な活用、中学生では様々な本の特長を見出せるようにすることが重要であると考えていることがわかった。

読書に関するアンケート調査の結果 各課からの意見

保育課中央保育所 記入者：杉山 理絵

【児童生徒用について】

- ・「好き」や「どちらからかといえれば好き」と答えた児童生徒がとても多かった。また、なぜ本を読むことが好きになりましたかという質問は小学校2年生では、お家の人、家族に読んで読んでもらったり、学校で読み聞かせをきいたり、友達に勧めてもらったりという答えが多かった。人との関わりを通して好きになったという答えが年齢が小さいほど割合が大きいと感じた。保育所でも好きという気持ちを持つてもらえるようなきつきかけ作りを心掛けていきたい。
- ・高校2年生の答えでも、「小さいときにお家の人や幼稚園、保育園の先生に本を読んでもらったことがありませんか」という質問に「よくあった」と答えてくれた人が多く、小さい頃のことをそのようにして覚えていてくれることがとても嬉しかった。目の前の子どもが今どのようなことに興味を持っていて、どのようなことが好きで、ということを理解するように努め、そのうえで絵本を選んでいるが、本を通してそのような愛情も伝わっているのかなと感じた。これからも本を選ぶ際の大切な視点のひとつとしていきたい。
- ・本を読むことが好きという答えの中には、小さい頃お家の人に抱っこしてもらったか、眠る前にスキンシップをはかりながら、といった本を通して味わった気持ちも含まれているのかと思う。本の読み聞かせでは環境作りも大切だと感じた。

【保護者について】

- ・保護者が本を読むことが好きであったり、本を読むことが大切だと感じている人ほど、自然と読み聞かせの頻度が高かったり、本と触れ合う機会が多いのかと感じた。
- ・保育所ではこれからも、ご家庭と連携をはかりながら、子ども達が最近喜んでみている本や読み聞かせをしたときの子ども達の反応やようすを伝え合っていきたいと思う。

読書に関するアンケート調査の結果 各課からの意見

健康増進課 記入者：河野 かおり

【児童生徒用について】

- 平成28年のアンケートと比較すると
- ・2(4)「小さいときに家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことがあるか」の高校生の割合が多くなっている。小さいころから読み聞かせが定着してきたことが伺える。
- ・(10)「1か月間で読んだ本の冊数」の小学2・5、中学生で10冊以上の割合が多くなっている。特に小5は5冊以上からの割合も増加しており、読書タイムがきつかけとなつたと答えているものが多く、読書タイムの効果が表れている。
- ・学校図書館の利用頻度、市の図書館利用頻度の割合はほとんど変化がない。読書の冊数が増えているが、図書館の利用とは比例していない。
- ・目標とする「1か月に1冊も本を読まなかつたこと」の割合は小2目標達成、小5ほぼ達成、中学生は増加してしまっている。本が好きな子と嫌いな子との差が大きいのかもしれない。
- ・(14) 高校生の本を使用しての調べ学習の好き傾向の割合が増加している。本への親しみやすさが増加していると捉えられる。
- ・2(1)「あなたは、本を読むことが好きですか。」は全学年で「好き」が多くなっている。各課での様々な取り組みが、子供の読書好きへつながっているのではないか。
- ・2(2)「なぜ本を読むことが好きですか。」の回答で全学年において「友達にすすめられて」が多くなっている。友達同士のコミュニケーションにより、読書の輪が広がっているととらえて良いか。
- ・2(3)「なぜ本を読むことが好きではないのですか」においては、全学年で「学校図書館に行く時間がない」が増えており、「学校で、昼休みや放課後に、図書館へどれくらい行きますか。」でも、ほとんどの学年で、「ほとんど、まったく行かない」が増えている。図書館や図書室をもっと身近で、行きたいと思える場所にしていくよう働きかけるとも必要か。
- (18) 電子書籍で「よく読む」と回答した人は、印刷された本もよく読んでおり、媒体に関係なく「よく読む習慣」がついていることが伺える。
- (21) マンガ読書の媒体が高校生のみ電子書籍の割合が高い。スマホを所持している割合が多くなっていることに関係している結果と思われる。
- 市のブックリストはあまり浸透していないことが伺える数値となっている。周知方法の検討必要か？

【保護者用について】

- ・保護者の結果は、学年別の結果が必要。
- ・保護者に本の大切さは理解されている。
- ・本をよく読んでいる人は、方法は問わず、電子でも印刷でもよく読んでいます。
- ・市のブックリストはあまり浸透していないことが伺える数値となっています。周知方法の検討必要か？
- ・子供がなぜ読書が好きになったかと思うかの問いで、「子供によく読み聞かせをしたから」という回答が一番多く、効果を認識している保護者が多いと考えられる。
- ・読み聞かせをしている保護者は、圧倒的に「母」が多く、父へも読み聞かせに参加するようアプローチしていくのも良いか。
- ・読書が好きかの問いで、「好き・どちらかといえば好き」の回答が6割以上だが、どのくらい読んでいるかの問いでは、「年に数回・ほとんど読んでいない」が半数以上占めている。なぜ読んでいないのかの問いでは「時間が足りない」が一番の理由となっており、好きだが、時間がなくなかなか読めていない状況が伺える。

読書に関するアンケート調査の結果 各課からの意見

社会教育課 記入者：千葉 薫

【児童生徒用について】

- ・本を読むことが好きな子どもは、読み聞かせされたり、すすめられたりした子が多い。読書が習慣になるには、保護者が読書に理解を深め、家庭でも本を介した子どもとの関わり合いを楽しみながら継続することが重要であると考えられる。
- ・本を読む場所について、「自分の家で」読む子が、「教室で」読む子の次に多く、小2、小5、中学生が、それぞれ全体のおよそ40%いるため、家庭での読書環境も大切であると思われる。家族が本に親しむ姿が子どもにとって良い手本となり、読書が身近なものとなるため、親への読書活動の啓発を活発にしていくことが望ましいと考える。

【保護者用について】

- ・保護者への「本を読むことは大切だと思いますか」という質問に対し約70%以上の保護者が「大切だと思う」と回答している。しかし「時間が無い」等の理由であまり読めていない保護者が多い。また、「どうすれば子どもが本を読むようになると思うか」という質問に対し、「本についての情報を積極的に知らせる」「図書館等に連れていく」という回答が多かった。子育て学習講座や家庭教育学級において読書の大切さを学び実践することにより、子どもがより意欲的に読書をするようになると考えられる。

読書に関するアンケート調査の結果 各課からの意見

図書館 課 記入者：阿部 祐子

【児童生徒用について】

「読書が好き・どちらかといえば好き」と答えている割合は小学2年生では90%、一番低い高2でも58%と5年前の調査に比べて高くなってきている。これはやはり「子ども読書活動推進計画」に、関連する各課が取り組んだ結果といえる。しかし、1か月間に全く本を読まなかった子どももまだまだ一定数いて、高校生になるとその割合が52%とはねあがることに對して、どう取り組んでいくかが課題と
思う。

もうひとつ気になる点は読書にかかる時間が10分から30分がどの年代でも一番多いということである。最近の出版物も「5分で読める～」[10分で読める～]とうたったものが多数出版されていることからこの傾向が読み取れる。これは短時間でも読書の習慣がついたということであるが、反面、長編をじっくり読むという力はなかなか身につかないことになる。長編を少しづつ読み進める面白さに気づいてもらうこと、短編ながらも味わい深い良質の物語を紹介するなど、いつも身近にいる大人（親や先生など）の働きかけが大切になってくると思われる。

調べ学習については、前回同様、調べ方、まとめ方がわからないという声が多いので、調べ方のガイダンスを個々に行うことが大切ではないかと思う。参考図書類の案内や、本とインターネットの違い、それぞれの長所・短所について理解することで適切な調べ学習が可能になってくるのではないかと思う。

「あなたが本を読むのはどうしてですか」の問いに、どの年代でも一番多かったのが「楽しいから」。楽しみとしての読書体験をたくさんすること、それが、読書好きの子どもたちを育てる一番の方法だと思う。

【保護者用について】

読書が好きかという問いに対して、子どもも自分自身も（どちらかといえばも含めて）読書は好きという回答が半数以上返ってきていることは前回と変わらない。ただその割には保護者自身がどのくらい家庭で読んでいるかに対してほとんど読んでいないという答えが一番多いことが気になる。親子ともに読書を楽しむ時間をとる、親が読んであげる・紹介する、読書する環境を整えること。そして、まずは読書は楽しい、という思いをたくさんもたせていくことが大切ではないかと思う。

令和3年度

四街道市
子ども読書活動推進計画策定委員会
(第1回)
読書アンケート集計結果

四街道市教育委員会

読書にかんするアンケートについて(小学校2年生)

番号	質問	形式	選択肢	回答
(1)	あなたは、本を読むことが好きですか。	選択	1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない	1 479名(71%) 2 130名(19%) 3 54名(8%) 4 14名(2%)
(2)	(1)で1・2と答えた人に聞きます。なぜ本を読むことが好きになりましたか。	複数	1 お家の人がよんでくれたから 2 学校で読み聞かせをしてくれたから 3 家族にすすめられたから 4 友だちにすすめられたから 5 その他()	1 267名 2 228名 3 94名 4 153名 5 211名
(3)	(1)で3・4と答えた人に聞きます。なぜ本を読むことが好きではないのですか。	複数	1 読む時間がないから 2 読みたい本が見つからないから 3 学校の図書室に行く時間がないから 4 字を読むのが苦手だから 5 その他()	1 19名 2 49名 3 8名 4 45名 5 20名
(4)	あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことがありますか。	選択	1 よくあった 2 たまにあった 3 あまりなかった 4 なかった 5 おぼえていない	1 426名(63%) 2 148名(22%) 3 24名(4%) 4 16名(2%) 5 62名(9%)
(5)	家や図書館で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日どれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書やマンガは入れません。)	選択	1 2時間以上 2 1時間～2時間 3 30分～1時間 4 10分～30分 5 10分より少ない 6 まったくしない	1 71名(11%) 2 74名(11%) 3 118名(18%) 4 248名(37%) 5 102名(15%) 6 58名(8%)
(6)	あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか。	複数	1 教室で 2 学校の図書室で 3 近くの図書館や公民館などで 4 自分の家で 5 その他()	1 465名 2 157名 3 62名 4 428名 5 65名
(7)	「この本を読んでみよう」という気持ちになるのはどんなときですか。	複数	1 友達、先生、家族などにすすめられたとき 2 学校の図書室で見て「おもしろそう」と思ったとき 3 図書館や公民館で見て「おもしろそう」と思ったとき 4 テレビやラジオでおもしろいと言っていたとき 5 インターネットで見たととき 6 新聞や雑誌で見たととき 7 その他()	1 224名 2 507名 3 166名 4 96名 5 61名 6 48名 7 75名
(8)	あなたは本を読むとき、その本をどのようにして手に入れることが多いですか。	複数	1 家にある 2 買う(買ってもらう) 3 学校の図書室で借りる 4 近くの図書館で借りる 5 友達に借りる 6 その他()	1 379名 2 408名 3 401名 4 119名 5 74名 6 27名
(9)	あなたが本を読むのはどうしてですか。	複数	1 知らないことが分かるから 2 感動できるから 3 楽しいから 4 友達が読んでいるから 5 考える力がつくから 6 勉強になるから 7 その他()	1 367名 2 119名 3 491名 4 98名 5 241名 6 312名 7 52名

(10)	あなたは最近の1か月間で、本を何冊ぐらい読みましたか。読みかけの本も1冊に入ってください。	選択	1 0冊 2 1～2冊 3 3～4冊 4 5～6冊 5 7～9冊 6 10冊以上	1 9名(1%) 2 57名(9%) 3 67名(10%) 4 63名(10%) 5 89名(13%) 6 384名(57%)
(11)	学校で休み時間に、図書室へどれくらい行きますか。	選択	1 だいたい週に4回より多く行く 2 週に1～3回くらい行く 3 月に1～3回くらい行く 4 年に何回か行く 5 ほとんど、または、まったく行かない	1 31名(5%) 2 173名(26%) 3 80名(12%) 4 39名(6%) 5 341名(51%)
(12)	休みの日や学校から帰った後に、本を読んだり借りたりするために、図書館や公民館へどれくらい行きますか。	選択	1 だいたい週に4回より多く行く 2 週に1～3回くらい行く 3 月に1～3回くらい行く 4 年に何回か行く 5 ほとんど、または、まったく行かない	1 27名(4%) 2 57名(9%) 3 85名(13%) 4 102名(15%) 5 395名(59%)
(13)	調べたいことがあるとき、何を使って調べますか。	複数	1 本や図鑑、事典 2 新聞・雑誌 3 大人の人に聞く 4 インターネット 5 テレビ・ラジオ	1 439名 2 38名 3 425名 4 186名 5 89名
(14)	インターネットやスマートフォン、タブレットで、物語などを読んだことがありますか。	選択	1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 118名(18%) 2 164名(24%) 3 121名(18%) 4 268名(40%)
(15)	マンガを読みますか。	選択	1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 299名(45%) 2 205名(31%) 3 70名(10%) 4 96名(14%)
(16)	四街道市のブックリストを知っていますか。	選択	1 知っている 2 少し知っている 3 あまり知らない 4 知らない	1 95名(14%) 2 64名(10%) 3 49名(7%) 4 459名(69%)
(17)	四街道市のブックリストの本を、どれくらい読んでいますか。	選択	1 1～10冊 2 11～20冊 3 21冊以上 4 読んでいない 5 わからない	1 118名(18%) 2 25名(4%) 3 15名(2%) 4 191名(28%) 5 322名(48%)
(18)	本を借りる時、四街道市のブックリストの本を選ぶようにしていますか。	選択	1 選ぶようにしている 2 ときどき選ぶようにしている 3 あまり選んでいない 4 選んでいない	1 52名(9%) 2 75名(11%) 3 73名(11%) 4 470名(69%)

読書にかんするアンケートについて(小学校5年生)

番号	質問	形式	選択肢	回答
(1)	あなたは、本を読むことが好きですか。	選択	1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない	1 342名(52%) 2 209名(32%) 3 83名(13%) 4 20名(3%)
(2)	(1)で1・2と答えた人に聞きます。なぜ本を読むことが好きになりましたか。	複数	1 お家の人がよんでくれたから 2 学校で読み聞かせをしてくれたから 3 家族にすすめられたから 4 友だちにすすめられたから 5 その他()	1 86名 2 54名 3 110名 4 138名 5 313名
(3)	(1)で3・4と答えた人に聞きます。なぜ本を読むことが好きではないのですか。	複数	1 読む時間がないから 2 読みたい本が見つからないから 3 学校の図書室に行く時間がないから 4 字を読むのが苦手だから 5 その他()	1 14名 2 46名 3 10名 4 45名 5 28名
(4)	あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことがありますか。	選択	1 よくあった 2 たまにあった 3 あまりなかった 4 なかった 5 おぼえていない	1 364名(56%) 2 174名(27%) 3 21名(3%) 4 12名(2%) 5 79名(12%)
(5)	家や図書館で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日どれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。)	選択	1 2時間以上 2 1時間～2時間 3 30分～1時間 4 10分～30分 5 10分より少ない 6 まったくしない	1 37名(6%) 2 63名(10%) 3 139名(21%) 4 256名(39%) 5 86名(13%) 6 71名(11%)
(6)	あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか。	複数	1 教室で 2 学校の図書室で 3 近くの図書館や公民館などで 4 自分の家で 5 その他()	1 401名 2 84名 3 24名 4 384名 5 51名
(7)	どんなきっかけで、本を読むことが多いですか。	複数	1 友達、先生、家族などにすすめられたとき 2 学校の図書室で見て「おもしろそう」と思ったとき 3 図書館や公民館で見て「おもしろそう」と思ったとき 4 テレビやラジオでおもしろいと言っていたとき 5 インターネットで見たとき 6 新聞や雑誌で見たとき 7 その他()	1 224名 2 298名 3 122名 4 105名 5 148名 6 44名 7 124名
(8)	あなたは本を読むとき、その本をどのようにして手に入れることが多いですか。	複数	1 家にある 2 買う(買ってもらう) 3 学校の図書室で借りる 4 近くの図書館で借りる 5 友達に借りる 6 その他()	1 232名 2 512名 3 315名 4 89名 5 112名 6 24名
(9)	あなたが本を読むのはどうしてですか。	複数	1 知らないことが分かるから 2 感動できるから 3 楽しいから 4 友達が読んでいるから 5 考える力がつくから 6 勉強になるから 7 その他()	1 278名 2 146名 3 487名 4 77名 5 188名 6 134名 7 102名

(10)	最近1か月間に、本を何冊ぐらい読みましたか。読んでいる途中でも1冊に入れてください。	選択	1 0冊 2 1～2冊 3 3～4冊 4 5～6冊 5 7～9冊 6 10冊以上	1 20名 (3%) 2 128名 (20%) 3 156名 (24%) 4 110名 (17%) 5 77名 (12%) 6 164名 (25%)
(11)	学校での読書タイムをきっかけとして、本を読む時間や回数が増えましたか。	選択	1 増えた 2 やや増えた 3 かわらない 4 やや減った 5 わからない	1 197名 (30%) 2 229名 (35%) 3 140名 (21%) 4 18名 (3%) 5 78名 (11%)
(12)	学校で昼休みや放課後に、図書室へどれくらい行きますか。	選択	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1～3回程度行く 3 月に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、まったく行かない	1 30名 (5%) 2 141名 (22%) 3 189名 (29%) 4 119名 (18%) 5 170名 (26%)
(13)	放課後や学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、図書館や公民館へどれくらい行きますか。	選択	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1～3回程度行く 3 月に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、まったく行かない	1 7名 (1%) 2 31名 (5%) 3 93名 (14%) 4 176名 (27%) 5 348名 (53%)
(14)	授業中の調べ学習について聞きます。本を使った調べ学習は好きですか。	選択	1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない	1 203名 (31%) 2 265名 (40%) 3 148名 (23%) 4 38名 (6%)
(15)	(14)で①好き、②どちらかといえば好き、と答えた人に聞きます。本を使った調べ学習が好きな理由は何ですか。	複数	1 自分で調べて考えるのが好きだから 2 自分でまとめるのが好きだから 3 図書室の先生に教えてもらえるから 4 友だちの発表を見たり聞いたりするのが好きだから 5 その他	1 300名 2 195名 3 14名 4 137名 5 24名
(16)	(14)で③あまり好きではない、④好きではない、と答えた人に聞きます。本を使った調べ学習が好きではない理由は何ですか。	複数	1 調べる本が見つけれないから 2 調べる本が少なく、他の人に借りられてしまっているから 3 調べ方やまとめ方がわからないから 4 本を使った調べ学習をしたことがないから 5 その他	1 61名 2 35名 3 90名 4 12名 5 43名
(17)	調べたいことがあるとき、何を活用しますか。	複数	1 本や図鑑、事典 2 新聞や雑誌 3 詳しい人に聞く 4 インターネット 5 テレビ・ラジオ	1 340名 2 42名 3 164名 4 563名 5 116名
(18)	電子書籍を読んだことはありますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。)	選択	1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 64名 (10%) 2 143名 (22%) 3 150名 (23%) 4 291名 (45%)
(19)	(18)で、①よく読む、②ときどき読むと答えた人に聞きます。印刷された本も読んでいますか。	選択	1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 113名 (55%) 2 40名 (19%) 3 36名 (17%) 4 18名 (9%)
(20)	あなたは、マンガを読みますか。	選択	1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 435名 (66%) 2 146名 (22%) 3 46名 (7%) 4 31名 (5%)
(21)	(20)で、①よく読む、②ときどき読む、③あまり読まない、と答えた人に聞きます。なにでマンガを読みますか。	選択	1 印刷されたもの 2 タブレット、スマートフォンなどの電子のもの 3 印刷されたもの、電子のもの、両方	1 444名 (71%) 2 59名 (9%) 3 124名 (20%)

(22)	(20)で、①よく読む、②ときどき読む、③あまり読まない、と答えた人に聞きます。どんなまんがを読みますか。	選択	1 学習マンガ 2 コミック 3 週刊や月刊などの雑誌	1 100名(17%) 2 412名(71%) 3 70名(12%)
(23)	四街道市のブックリストを知っていますか。	選択	1 知っている 2 少し知っている 3 あまり知らない 4 知らない	1 75名(12%) 2 65名(10%) 3 92名(14%) 4 411名(64%)
(24)	四街道市のブックリストの本は、どれくらい読んでいますか。	選択	1 1~10冊 2 11~20冊 3 21冊以上 4 読んでいない 5 わからない	1 69名(10%) 2 12名(2%) 3 20名(3%) 4 256名(40%) 5 288名(45%)
(25)	本を借りるとき、四街道市のブックリストの本を意識して借りていますか。	選択	1 とても意識する 2 少し意識する 3 あまり意識しない 4 意識しない	1 19名(3%) 2 77名(12%) 3 126名(20%) 4 421名(65%)

読書にかんするアンケートについて(中学校2年生)

「本」については、印刷された本だけでなく、インターネットやスマートフォン・タブレット等で読むもの(電子書籍)も含めて教えてください。

番号	質問	形式	選択肢	回答
(1)	あなたは、本を読むことが好きですか。	選択	1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない	1 267名(48%) 2 153名(27%) 3 104名(19%) 4 36名(6%)
(2)	(1)で1・2と答えた人に聞きます。なぜ本を読むことが好きになりましたか。	複数	1 お家の人がよんでくれたから 2 学校で読み聞かせをしてくれたから 3 家族にすすめられたから 4 友だちにすすめられたから 5 その他()	1 70名 2 30名 3 78名 4 142名 5 203名
(3)	(1)で3・4と答えた人に聞きます。なぜ本を読むことが好きではないのですか。	複数	1 読む時間がないから 2 読みたい本が見つからないから 3 学校の図書室に行く時間がないから 4 字を読むのが苦手だから 5 その他()	1 32名 2 69名 3 15名 4 48名 5 19名
(4)	あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことがありますか。	選択	1 よくあった 2 たまにあつた 3 あまりなかった 4 なかった 5 おぼえていない	1 321名(57%) 2 150名(28%) 3 18名(3%) 4 8名(1%) 5 63名(11%)
(5)	家や図書館で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日どれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。)	選択	1 2時間以上 2 1時間～2時間 3 30分～1時間 4 10分～30分 5 10分より少ない 6 まったくしない	1 34名(6%) 2 75名(13%) 3 111名(20%) 4 170名(30%) 5 59名(11%) 6 111名(20%)
(6)	あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか。	複数	1 教室で 2 学校の図書室で 3 近くの図書館や公民館などで 4 自分の家で 5 その他()	1 406名 2 20名 3 14名 4 345名 5 21名
(7)	どんなきっかけで、本を読むことが多いですか。	複数	1 友達、先生、家族などにすすめられたとき 2 学校の図書室で見て「おもしろそう」と思ったとき 3 図書館や公民館で見て「おもしろそう」と思ったとき 4 テレビやラジオでおもしろいと言っていたとき 5 インターネットで見たとき 6 新聞や雑誌で見たとき 7 その他()	1 257名 2 156名 3 73名 4 107名 5 238名 6 42名 7 94名
(8)	あなたは本を読むとき、その本をどのようにして手に入れることが多いですか。	複数	1 家にある 2 買う(買ってもらう) 3 学校の図書室で借りる 4 近くの図書館で借りる 5 友達に借りる 6 その他()	1 158名 2 479名 3 134名 4 42名 5 108名 6 18名
(9)	あなたが本を読むのはどうしてですか。	複数	1 知らないことが分かるから 2 感動できるから 3 楽しいから 4 友達が読んでいるから 5 考える力がつくから 6 勉強になるから 7 その他()	1 196名 2 181名 3 387名 4 51名 5 114名 6 82名 7 62名

(10)	最近1か月間に、本を何冊ぐらい読みましたか。読んでいる途中でも1冊に入れてください。	選択	1 0冊 2 1～2冊 3 3～4冊 4 5～6冊 5 7～9冊 6 10冊以上	1 40名(7%) 2 259名(47%) 3 133名(24%) 4 46名(8%) 5 24名(4%) 6 58名(10%)
(11)	学校での読書タイムをきっかけとして、本を読む時間や回数が増えましたか。	選択	1 増えた 2 やや増えた 3 かわらない 4 やや減った 5 わからない	1 173名(31%) 2 158名(28%) 3 179名(32%) 4 6名(1%) 5 44名(8%)
(12)	学校で昼休みや放課後に、図書室へどれくらい行きますか。	選択	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1～3回程度行く 3 月に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、まったく行かない	1 14名(3%) 2 58名(10%) 3 75名(13%) 4 146名(26%) 5 267名(48%)
(13)	放課後や学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、図書館や公民館へどれくらい行きますか。	選択	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1～3回程度行く 3 月に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、まったく行かない	1 5名(1%) 2 10名(2%) 3 41名(7%) 4 121名(22%) 5 383名(68%)
(14)	授業中の調べ学習について聞きます。本を使った調べ学習は好きですか。	選択	1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない	1 99名(18%) 2 241名(43%) 3 157名(28%) 4 63名(11%)
(15)	(14)で①好き、②どちらかといえば好き、と答えた人に聞きます。本を使った調べ学習が好きな理由は何ですか。	複数	1 自分で調べて考えるのが好きだから 2 自分でまとめるのが好きだから 3 図書室の先生に教えてもらえるから 4 友だちの発表を見たり聞いたりするのが好きだから 5 その他	1 187名 2 137名 3 13名 4 94名 5 26名
(16)	(14)で③あまり好きではない、④好きではない、と答えた人に聞きます。本を使った調べ学習が好きではない理由は何ですか。	複数	1 調べる本が見つからないから 2 調べる本が少なく、他の人に借りられてしまっているから 3 調べ方やまとめ方がわからないから 4 その他	1 74名 2 30名 3 101名 4 56名
(17)	調べたいことがあるとき、何を活用しますか。	複数	1 本や図鑑、事典 2 新聞や雑誌 3 詳しい人に聞く 4 インターネット 5 テレビ・ラジオ	1 181名 2 25名 3 153名 4 530名 5 52名
(18)	電子書籍を読んだことはありますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。)	選択	1 よく読む 2 とときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 72名(13%) 2 109名(19%) 3 140名(25%) 4 239名(43%)
(19)	(18)で、①よく読む、②とときどき読むと答えた人に聞きます。印刷された本も読んでいますか。	選択	1 よく読む 2 とときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 72名(40%) 2 55名(30%) 3 33名(18%) 4 21名(12%)
(20)	あなたは、マンガを読みますか。	選択	1 よく読む 2 とときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 298名(54%) 2 137名(24%) 3 73名(13%) 4 52名(9%)
(21)	(20)で、①よく読む、②とときどき読む、③あまり読まない、と答えた人に聞きます。なにでマンガを読みますか。	選択	1 印刷されたもの 2 タブレット、スマートフォンなどの電子のもの 3 印刷されたもの、電子のもの、両方	1 238名(47%) 2 85名(17%) 3 185名(36%)

(22)	(20) で、①よく読む、②ときどき読む、③あまり読まない、と答えた人に聞きます。どんなまんがを読みますか。	選択	1 学習マンガ 2 コミック 3 週刊や月刊などの雑誌	1 34名 (7%) 2 378名 (74%) 3 96名 (19%)
------	--	----	-----------------------------------	---

読書にかんするアンケートについて(高校2年生)

「本」については、印刷された本だけでなく、インターネットやスマートフォン・タブレット等で読むもの(電子書籍)も含めて答えてください。

番号	質問	形式	選択肢	回答
(1)	あなたは、本を読むことが好きですか。	選択	1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない	1 47名(28%) 2 52名(30%) 3 57名(34%) 4 14名(8%)
(2)	(1)で1・2と答えた人に聞きます。なぜ本を読むことが好きになりましたか。	複数	1 お家の人がよんでくれたから 2 学校で読み聞かせをしてくれたから 3 家族にすすめられたから 4 友だちにすすめられたから 5 その他()	1 11名 2 6名 3 11名 4 28名 5 55名
(3)	(1)で3・4と答えた人に聞きます。なぜ本を読むことが好きではないのですか。	複数	1 読む時間がないから 2 読みたい本が見つからないから 3 学校の図書室に行く時間がないから 4 字を読むのが苦手だから 5 その他()	1 29名 2 34名 3 8名 4 21名 5 4名
(4)	あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことがありますか。	選択	1 よくあった 2 たまにあった 3 あまりなかった 4 なかった 5 おぼえていない	1 112名(65%) 2 45名(27%) 3 1名(1%) 4 1名(1%) 5 10名(6%)
(5)	家や図書館で、ふだん(月曜日から金曜日)、1日どれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。)	選択	1 2時間以上 2 1時間～2時間 3 30分～1時間 4 10分～30分 5 10分より少ない 6 まったくしない	1 5名(2%) 2 4名(2%) 3 18名(12%) 4 24名(14%) 5 14名(8%) 6 105名(62%)
(6)	あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか。	複数	1 教室で 2 学校の図書室で 3 近くの図書館や公民館などで 4 自分の家で 5 その他()	1 11名 2 13名 3 2名 4 144名 5 12名
(7)	どんなきっかけで、本を読むことが多いですか。	複数	1 友達、先生、家族などにすすめられたとき 2 学校の図書室で見て「おもしろそう」と思ったとき 3 図書館や公民館で見て「おもしろそう」と思ったとき 4 テレビやラジオでおもしろいと言っていたとき 5 インターネットで見たとき 6 新聞や雑誌で見たとき 7 その他()	1 44名 2 16名 3 22名 4 31名 5 69名 6 12名 7 36名
(8)	あなたは本を読むとき、その本をどのようにして手に入れることが多いですか。	複数	1 家にある 2 買う(買ってもらう) 3 学校の図書室で借りる 4 近くの図書館で借りる 5 友達に借りる 6 その他()	1 27名 2 146名 3 15名 4 10名 5 19名 6 6名
(9)	あなたが本を読むのはどうしてですか。	複数	1 知らないことが分かるから 2 感動できるから 3 楽しいから 4 友達が読んでいるから 5 考える力がつくから 6 勉強になるから 7 その他()	1 27名 2 47名 3 104名 4 12名 5 27名 6 8名 7 14名

(10)	最近1か月間に、本を何冊ぐらい読みましたか。読んでいる途中でも1冊に入れてください。	選択	1 0冊 2 1～2冊 3 3～4冊 4 5～6冊 5 7～9冊 6 10冊以上	1 88名(52%) 2 55名(33%) 3 13名(8%) 4 8名(4%) 5 2名(1%) 6 3名(2%)
(11)	学校での読書タイムをきっかけとして、本を読む時間や回数が増えましたか。	選択	1 増えた 2 やや増えた 3 かわらない 4 やや減った 5 わからない	1 13名(8%) 2 13名(8%) 3 66名(39%) 4 9名(6%) 5 67名(39%)
(12)	学校で昼休みや放課後に、図書室へどれくらい行きますか。	選択	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1～3回程度行く 3 月に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、まったく行かない	1 1名(1%) 2 4名(2%) 3 6名(3%) 4 6名(3%) 5 153名(91%)
(13)	放課後や学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、図書館や公民館へどれくらい行きますか。	選択	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1～3回程度行く 3 月に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、まったく行かない	1 0名(0%) 2 0名(0%) 3 6名(3%) 4 13名(7%) 5 151名(90%)
(14)	授業中の調べ学習について聞きます。本を使った調べ学習は好きですか。	選択	1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない	1 15名(8%) 2 77名(45%) 3 47名(28%) 4 31名(19%)
(15)	(14)で①好き、②どちらかといえば好き、と答えた人に聞きます。本を使った調べ学習が好きな理由は何ですか。	複数	1 自分で調べて考えるのが好きだから 2 自分でまとめるのが好きだから 3 図書室の先生に教えてもらえるから 4 友だちの発表を見たり聞いたりするのが好きだから 5 その他	1 40名 2 42名 3 1名 4 18名 5 6名
(16)	(14)で③あまり好きではない、④好きではない、と答えた人に聞きます。本を使った調べ学習が好きではない理由は何ですか。	複数	1 調べる本が見つからないから 2 調べる本が少なく、他の人に借りられてしまっているから 3 調べ方やまとめ方がわからないから 4 その他	1 17名 2 9名 3 41名 4 2名
(17)	調べたいことがあるとき、何を活用しますか。	複数	1 本や図鑑、事典 2 新聞や雑誌 3 詳しい人に聞く 4 インターネット 5 テレビ・ラジオ	1 24名 2 1名 3 37名 4 169名 5 2名
(18)	電子書籍を読んだことはありますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。)	選択	1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 15名(9%) 2 31名(18%) 3 30名(17%) 4 94名(56%)
(19)	(18)で、①よく読む、②ときどき読むと答えた人に聞きます。印刷された本も読んでいますか。	選択	1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 14名(30%) 2 18名(40%) 3 7名(15%) 4 7名(15%)
(20)	あなたは、マンガを読みますか。	選択	1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない	1 85名(51%) 2 48名(29%) 3 14名(8%) 4 22名(12%)
(21)	(20)で、①よく読む、②ときどき読む、③あまり読まない、と答えた人に聞きます。なにでマンガを読みますか。	選択	1 印刷されたもの 2 タブレット、スマートフォンなどの電子のもの 3 印刷されたもの、電子のもの、両方	1 27名(19%) 2 45名(31%) 3 73名(50%)

(22)	(20)で、①よく読む、②ときどき読む、③あまり読まない、と答えた人に聞きます。どんなまんがを読みますか。	選択	1 学習マンガ 2 コミック 3 週刊や月刊などの雑誌	1 2名(2%) 2 118名(89%) 3 12名(9%)
------	---	----	-----------------------------------	--------------------------------------

読書にかんするアンケートについて(保護者)

「本」「読書」については、印刷された本だけでなく、インターネットやスマートフォン・タブレット等で読むもの(電子書籍)も含めて答えてください。

番号	質問	形式	選択肢	回答
1	あなたのお子さんは	選択	1 小学2年生 2 小学5年生 3 中学2年生	1 328名 2 267名 3 168名
2	あなたのお子さんは、読書が好きだと思いますか。	選択	1 好き 2 どちらかといえば好き 3 あまり好きではない 4 好きではない	1 245名(32%) 2 230名(30%) 3 225名(29%) 4 63名(9%)
3	2で①好き②どちらかと言えば好きと答えた方にお聞きします。なぜ、読書が好きだと思いますか。	複数	1 子どもによく読み聞かせをしたから 2 学校で読み聞かせをもらったから 3 子どもにすすめたから 4 先生にすすめられたから 5 友だちにすすめられたから 6 その他	1 233名 2 68名 3 117名 4 29名 5 65名 6 172名
4	2で③あまり好きではない④好きではないと答えた方にお聞きします。なぜ読書が好きではないと思いますか。	複数	1 読む時間がないから 2 読みたい本が見つからないから 3 学校の図書室に行く時間がないから 4 字を読むのが苦手だから 5 その他	1 47名 2 98名 3 7名 4 141名 5 60名
5	あなたのお子さんは、どれくらい本を読んでいますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。)	選択	1 ほぼ毎日読んでいる 2 週に3回くらい 3 週に1回くらい 4 月に1~2回くらい 5 年に数回くらい 6 ほとんど読んでいない	1 182名(24%) 2 157名(21%) 3 147名(19%) 4 108名(14%) 5 64名(8%) 6 105名(14%)
6	ご家庭では、お子さんに本を読んであげていますか。(お子さんが小さかった頃も含めて)	選択	1 ほぼ毎日 2 週に3回くらい 3 週に1回くらい 4 月に1~2回くらい 5 年に数回くらい 6 ほとんど読んでいない	1 141名(18%) 2 168名(22%) 3 136名(18%) 4 79名(10%) 5 68名(9%) 6 171名(23%)
7	6で「①~⑤」と答えた方にお聞きします。ご家庭では、主にどなたが、お子さんに本を読んであげていますか。(お子さんが小さかった頃も含めて)	選択	1 父 2 母 3 祖父 4 祖母 5 兄・姉 6 おじ・おば 7 その他	1 31名(4%) 2 563名(91%) 3 1名(1%) 4 14名(2%) 5 2名(1%) 6 0名(0%) 7 7名(1%)
8	あなたご自身は、読書がお好きですか。	選択	1 好き 2 どちらかと言えば好き 3 どちらかと言えば好きではない 4 好きではない	1 206名(27%) 2 295名(39%) 3 205名(27%) 4 57名(7%)
9	あなたご自身は、ご家庭でどのくらい本を読んでいますか。	選択	1 ほぼ毎日 2 週に3回くらい 3 週に1回くらい 4 月に1~2回くらい 5 年に数回くらい 6 ほとんど読んでいない	1 60名(8%) 2 83名(11%) 3 84名(11%) 4 113名(15%) 5 200名(26%) 6 223名(29%)

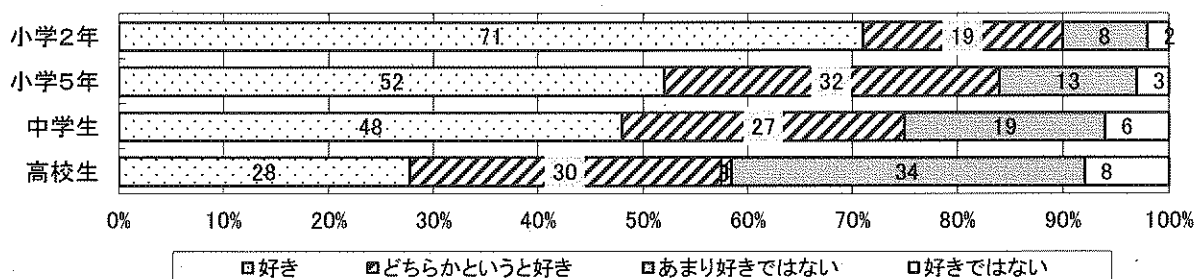
10	10で、⑤年に数回、⑥ほとんど読んでいない、と回答した方にお聞きします。その理由は何ですか。	複数	<ul style="list-style-type: none"> 1 読書する時間がない 2 読書することにあまり興味がない 3 文章を読むのが苦手 4 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 1 301名 2 118名 3 42名 4 34名
11	あなたは本をどのようにして入手されますか。(一番多い方法を選んでください)	選択	<ul style="list-style-type: none"> 1 近隣の図書館で借りる 2 購入する 3 知人から借りる 4 あまり借りたり買ったりしない 5 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 1 145名(19%) 2 514名(67%) 3 22名(3%) 4 67名(9%) 5 15名(2%)
12	あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。	選択	<ul style="list-style-type: none"> 1 思う 2 どちらかといえば思う 3 どちらかといえば思わない 4 思わない 	<ul style="list-style-type: none"> 1 588名(76%) 2 166名(22%) 3 8名(1%) 4 1名(1%)
13	あなたは、どうすれば子どもたちがもっとよく本を読むようになると考えられますか。	複数	<ul style="list-style-type: none"> 1 大人が読み聞かせる 2 テレビやゲームの時間を減らす 3 本についての情報を積極的に知らせる 4 図書館等に連れていく 5 その他 	<ul style="list-style-type: none"> 1 277名 2 276名 3 371名 4 356名 5 99名
14	あなたのお子さんは、調べたいことがあるときに何を活用していますか。	複数	<ul style="list-style-type: none"> 1 本や図鑑、事典 2 新聞や雑誌 3 詳しい人に聞いている 4 インターネット 5 テレビ・ラジオ 	<ul style="list-style-type: none"> 1 380名 2 29名 3 290名 4 624名 5 17名
15	あなたご自身は、電子書籍を読んだことはありますか。	選択	<ul style="list-style-type: none"> 1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない 	<ul style="list-style-type: none"> 1 72名(9%) 2 172名(23%) 3 179名(23%) 4 340名(45%)
16	15で、①よく読む、②ときどき読むと回答した方にお聞きします。印刷された本も読んでいますか。	選択	<ul style="list-style-type: none"> 1 よく読む 2 ときどき読む 3 あまり読まない 4 読まない 	<ul style="list-style-type: none"> 1 72名(30%) 2 93名(38%) 3 65名(27%) 4 14名(5%)
17	小学生の保護者にお聞きします。四街道市のブックリスト(小学生版)を知っていますか。	選択	<ul style="list-style-type: none"> 1 知っている 2 少し知っている 3 あまり知らない 4 知らない 	<ul style="list-style-type: none"> 1 18名(3%) 2 26名(4%) 3 119名(20%) 4 432名(73%)

1 調査時期と調査対象者 (調査時期 令和3年3月)

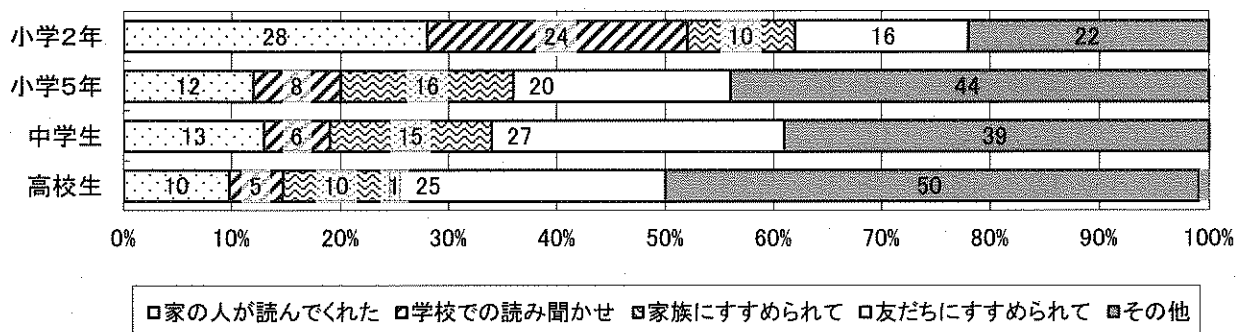
調査対象者	人数
市内小学校2年生児童	677名
市内小学校5年生児童	654名
市内中学校2年生生徒	560名
市内高等学校2年生生徒	170名
市内小学校2年生児童保護者	328名
市内小学校5年生児童保護者	267名
市内中学校2年生生徒保護者	168名

2 児童生徒の回答を学年別比較

(1) あなたは、本を読むことが好きですか。



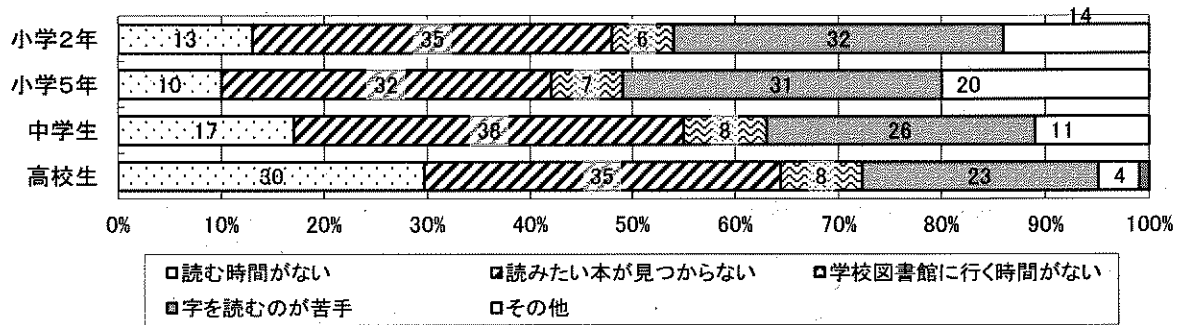
(2) なぜ本を読むことが好きですか。※(1)で「好き・どちらかという好き」が回答



※「その他」の回答

小学2年生	小学5年生	中学生	高校生
・読んでみたら楽しかったから ・前から好きだから	・読んでみたら楽しかったから ・続きが気になるから	・読んでみたら楽しかったから ・好きな作家がいるから	・読んでみたら楽しかったから ・好きな映画の原作だから

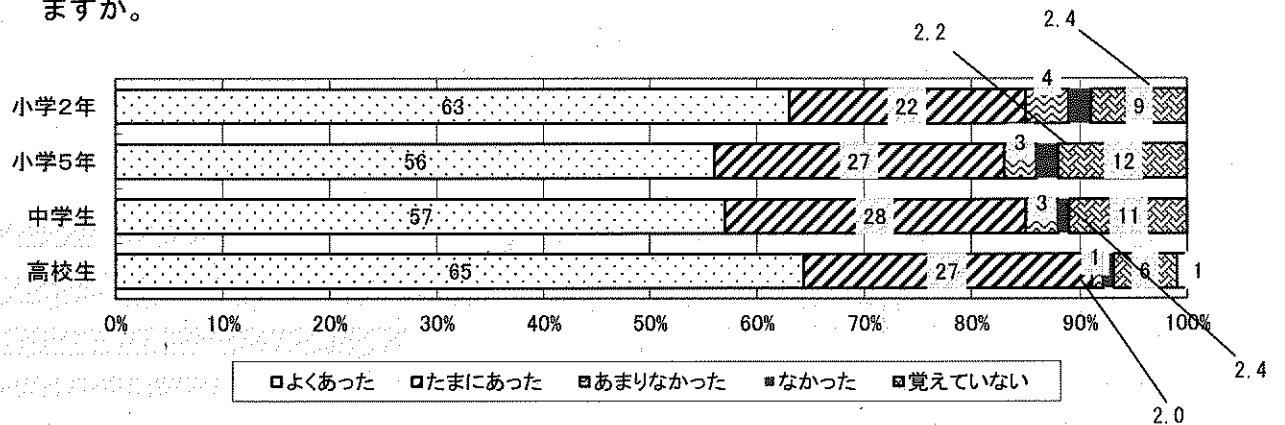
(3) なぜ本を読むことが好きではないのですか。※(1)で「あまり好きではない・好きではない」が回答



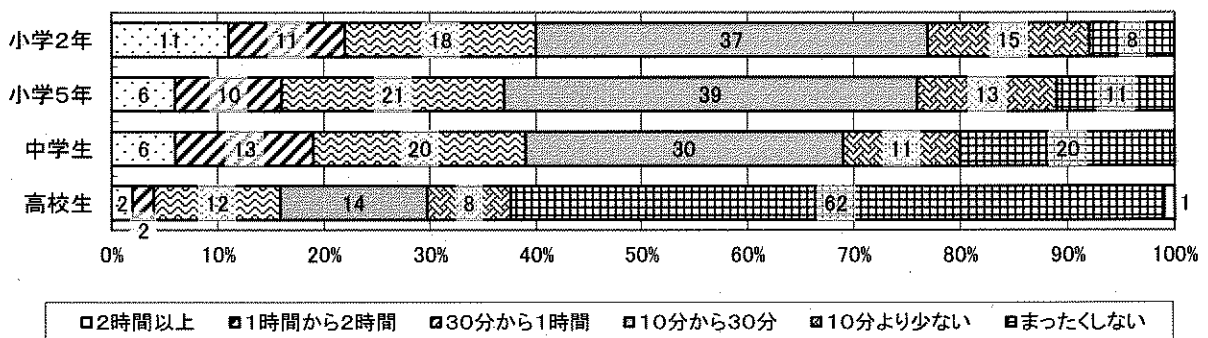
※「その他」の回答

小学2年生	小学5年生	中学生	高校生
・面倒だから	・おもしろくないから ・テレビのほうがいい	・面倒だから ・目が疲れるから	・途中で飽きてしまうから

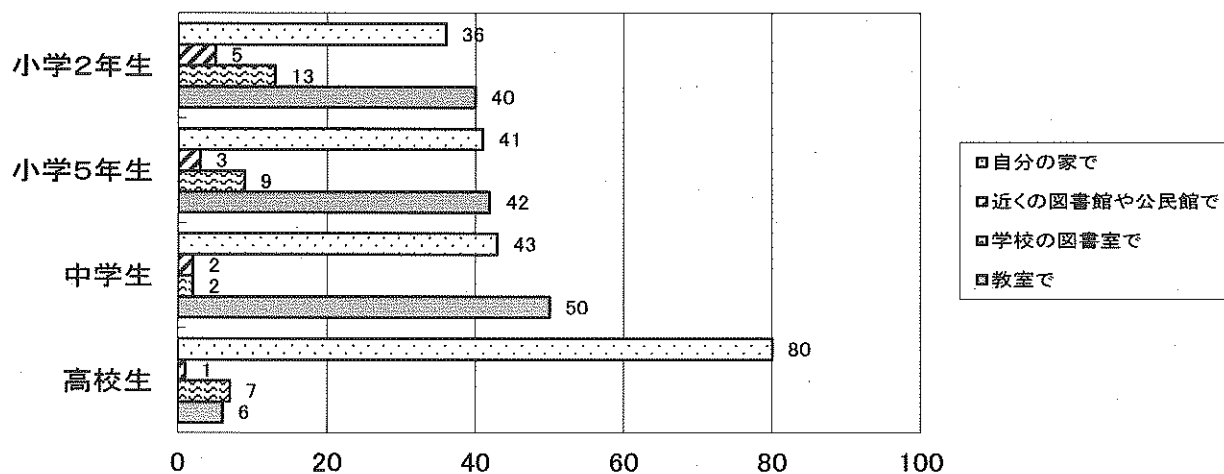
(4) あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことはありますか。



(5) 家や図書館で、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書を行いますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。）



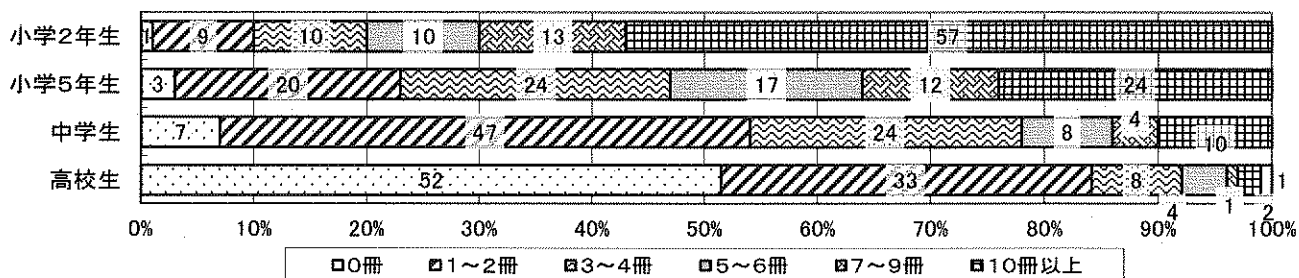
(6) あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか。(複数回答)



※「その他」の回答

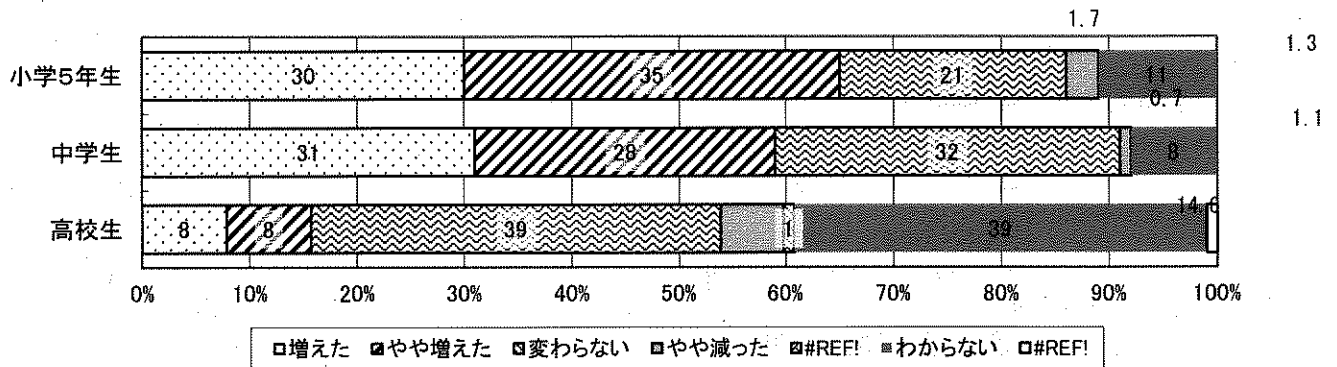
小学2年生	小学5年生	中学生	高校生
・外出先で	・外出先で	・外出先で	・電車の中で

(9) あなたは最近1か月間に、本を何冊ぐらい読みましたか。読んでいる途中でも1冊に入れてください。

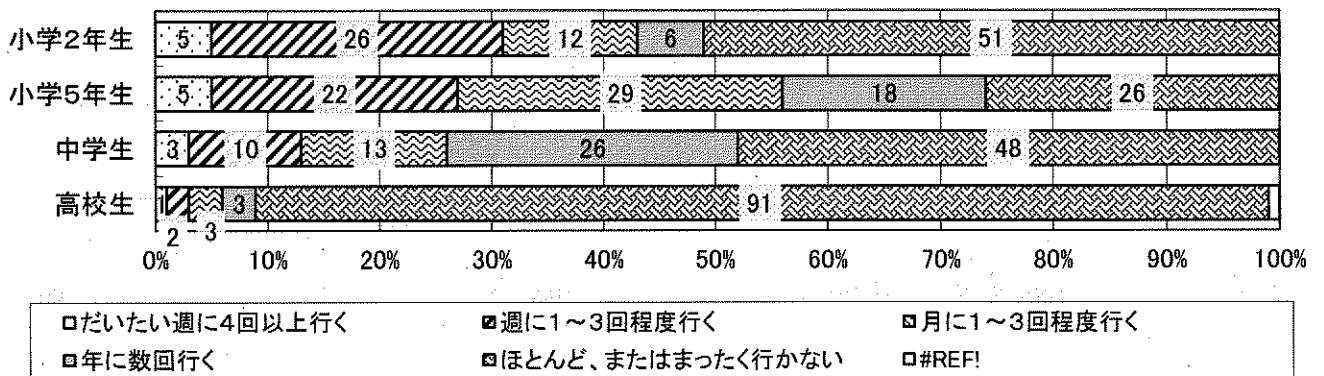


(10) 学校での読書タイムをきっかけとして、本を読む時間や回数が増えましたか。

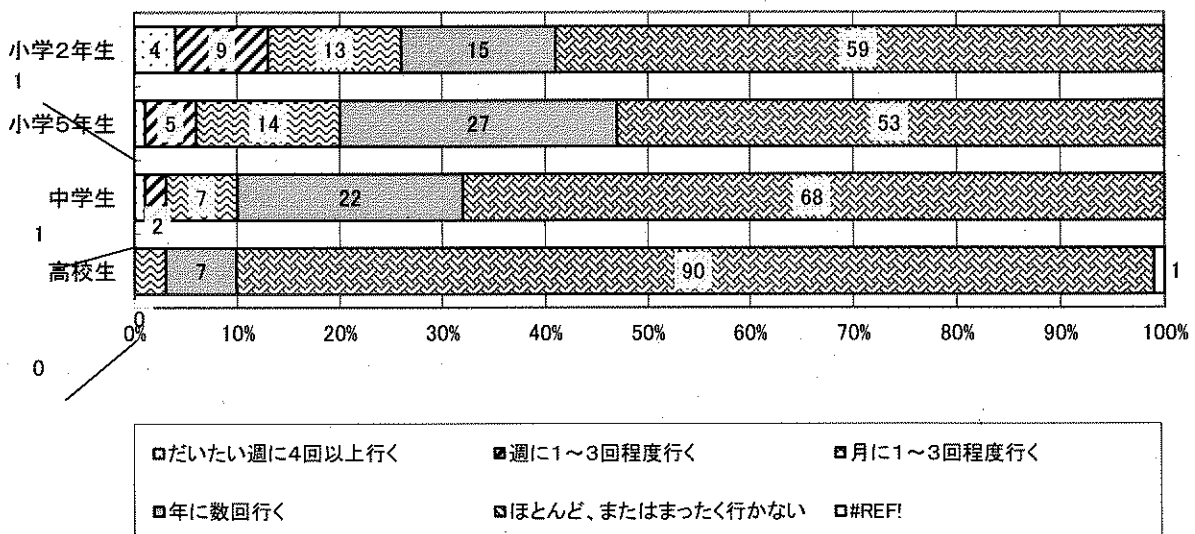
※小学2年生は実施せず。



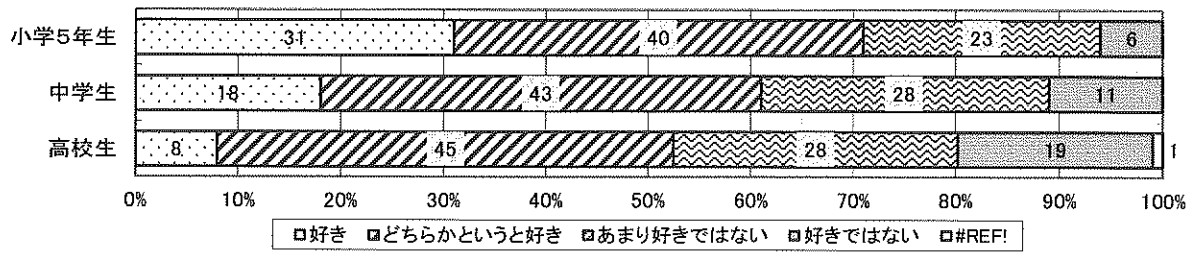
(11) 学校で、昼休みや放課後に、図書室へどれくらい行きますか。



(12) 放課後や学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、図書館や公民館へどれくらい行きますか。

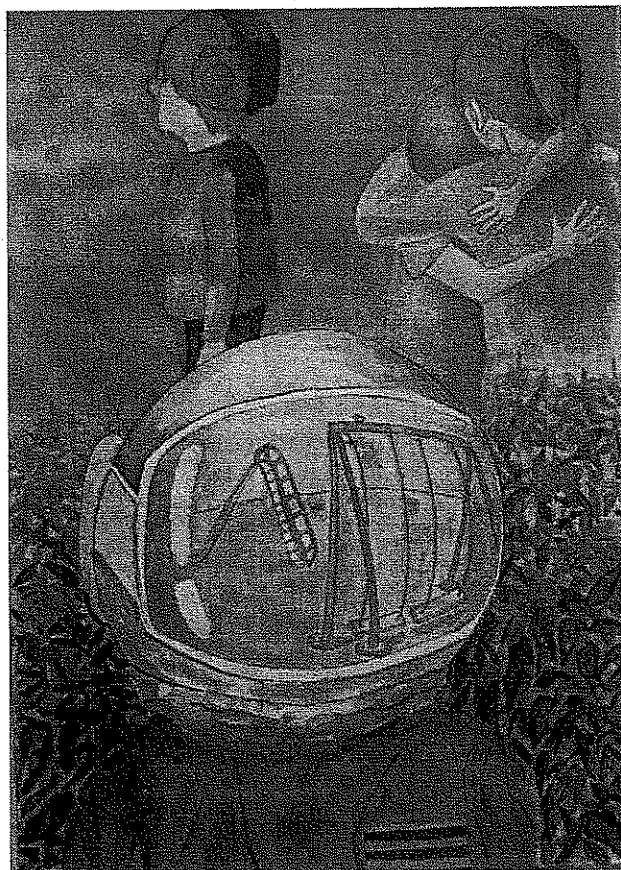


(13) 本を使った調べ学習は好きですか。※小学2年生は実施せず



四街道市子ども読書活動推進計画
(第三次)

～読書で拓く 子どもの未来～



平成29年3月
四街道市教育委員会

も く じ

はじめに	・・・	1
第1章 第二次計画における成果と課題		
1 目標数値について	・・・	2
2 成果	・・・	3
3 課題	・・・	5
第2章 第三次計画の策定		
1 趣旨	・・・	6
2 基本方針	・・・	6
3 計画の期間	・・・	7
4 計画の対象	・・・	7
5 財政上の措置	・・・	7
第3章 計画推進のための方策		
1 家庭における推進方策	・・・	8
2 地域における推進方策	・・・	10
3 学校等における推進方策	・・・	12
4 家庭・地域・学校等間の連携・協力の推進	・・・	15
5 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及	・・・	16
6 推進体制の整備	・・・	16
7 目標とする数値	・・・	18
巻末資料	・・・	19

※この計画における各種事業の担当課名は、平成29年4月に実施予定の組織改定後の名称で掲載しています。

はじめに

本市では、平成19年度末に第一次計画、平成23年度末に第二次計画を策定し、取組を進めてまいりました。これまでの取組を通して、子どもの読書活動を推進するための物的・人的環境が徐々に整備されつつあります。このたび、子どもの読書活動のさらなる充実のため、一つ一つの施策を見直して焦点化し、第三次計画を策定いたしました。

読書活動の推進については、平成24年度末に策定した本市の教育振興基本計画の中でも、基本方針1「豊かな感性を育み、強い心で正義を尊ぶ、たくましい子どもを育てます」の主な施策として位置付けております。

私は、人間形成の上で、読書は非常に大切な役割を担っていると考えております。

私自身、読書が好きで、これまでにさまざまな本を読んできました。子どもの頃は、特に伝記や、空想的な物語を好んで読みました。本を読むことにより、知らなかったことをたくさん吸収し、世界が広がりました。また、本の世界の中では、違う自分になることができました。中学生の頃に『赤毛のアン』のシリーズを全巻読んだことは、今でも心に残っています。

本市の子どもたちにも、読書を楽しみながら、読書によって得た知識や心の豊かさを成長の糧としてほしいと願っています。

第三次計画推進のスローガンは、第二次計画と同様に「**読書で拓く 子どもの未来**」としました。

子どもたちは、一人一人さまざまな可能性を秘めています。読書によって、心を耕し、さまざまな知識を身に付けることで、子どもたちの可能性は無限に広がっていきます。読書によって蓄えた栄養で、変化が激しく、多様な課題を抱えた社会の中でも、自分らしくたくましく生き、夢を実現させてほしいと思います。

また、本市では、書籍だけではなく、電子書籍やインターネット等の資料を活用することも読書活動と捉えています。情報の溢れる現代において、適切な資料を選び取り、活用することのできる力を育成することも大切であると考えます。

第二次計画推進により構築したネットワークを生かしながら、子どもたちを支えるすべての大人が連携してこの三次計画を積極的に推進し、読書によって子どもたちに人生を切り拓いていく力が身に付くよう努めてまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会委員の皆様、読書に関するアンケート調査にご協力いただいた児童生徒の皆さんや教職員の皆様、保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

平成29年3月

四街道市教育委員会教育長 高橋 信彦

第1章 第二次計画における成果と課題

本市では、平成19年度末に第一次、平成23年度末に第二次子ども読書活動推進計画を策定し、図書館や行政関係課や学校、幼稚園、保育園（所）等で諸施策を進めてまいりました。

第三次計画策定にあたり、平成28年3月に、子どもたちと保護者を対象に読書に関するアンケート調査（※1）を実施しました。このアンケート調査によると、小学校5年生で74.1%、中学校2年生で73.9%の子どもたちが「本を読むことが好き」と答えています。第二次計画策定の際、平成23年2月に実施したアンケート調査（※2）と比較すると、小学校5年生も中学校2年生も「本を読むことが好き」と答えた割合は減少しています。5年の間に子どもたちを取り巻く環境が変化し、スマートフォンやタブレット等が子どもたちにとって身近なものとなりました。インターネットを使って興味・関心のあることを調べたり、電子書籍を読んだりする等、機器を上手に活用する子どもが増えていることは望ましいことですが、反面、SNSやゲームに費やす時間も増えていると推察されます。また、市教育振興基本計画（※3）に係るアンケート調査によると、放課後は塾や習い事に通う子どもも多くなっています。これらのことから、以前に比べて本に親しむ時間が減少していると思われれます。しかし、平成28年度全国学力・学習状況調査（※4）における「学校の授業以外に普段1日当たりどれくらいの時間読書をするか」という設問では、「毎日10分以上読書をする」と回答した児童生徒は小学生が65.4%、中学生で53.5%と全国平均（小学校63.5%、中学生49.7%）を上回っていることから、第二次計画での児童生徒への働きかけにより、読書習慣については、他の地域に比べ、身に付いてきているといえます。読書が好きになった理由としては、「幼少期の本の読み聞かせ」を挙げた子が多く、読み聞かせが読書への興味・関心を高める上で大きな役割を果たしていることがわかりました。一方、読書が好きではない理由としては、「読みたい本が見つからない」と挙げた子が多くいました。家庭や学校等で子どもたちにどのように本に関する情報提供を行うかも課題の一つであると考えられます。さらに、第一次計画から引き続き課題となっているのは、学年が上がるにつれて読書をしなくなる傾向が見られることです。

第二次計画の推進にあたっては、図書館や行政関係課で協力し合い、取組を進めてきました。また、「子ども読書活動推進連絡会」の開催により、幼稚園・保育園（所）や学校、関係機関、ボランティア団体等の横のつながりも年々深まり、連携、協力体制の整備が少しずつ進んできました。

第三次計画では、第二次計画の成果と課題を踏まえ、事業をしぼり、焦点化することで、より一層の読書活動の推進を図っていきます。

※1 平成28年3月実施 全小学校2年生、5年生、全中学校2年生、市内高等学校2年生対象

※2 平成23年2月実施 全小学校5年生、全中学校2年生、市内高等学校2年生対象

※3 平成27年7月実施、全中学校2年生対象

※4 平成28年4月実施 全小学校6年生、全中学3年生対象

1 目標とする数値について ※（ ）は第二次計画の28年度目標数値

(1) 図書館・公民館における児童書貸出冊数

平成22年度 70,557冊 ⇒ 平成27年度末 86,661冊
(78,000冊)

(2) 学校図書館における児童生徒一人あたりの貸出冊数

	平成22年度	平成27年度末
小学生	25.7冊	37.5冊(30冊)
中学生	3.4冊	7.8冊(10冊)

(3) 1か月に読む本の冊数に関する子どもの割合

	平成22年度	平成27年度末
小学校2年生 1か月に読む本の冊数が5冊 以上の子どもの割合		64.5%
小学校5年生 1か月に読む本の冊数が5冊 以上の子どもの割合	45.8%	36.7%(51%)
中学校2年生 1か月に読む本の冊数が3冊 以上の子どもの割合	42.8%	40.8%(48%)

(4) 1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合

	平成22年度	平成27年度末
小学校2年生		2.1%
小学校5年生	3.4%	4.7%
中学校2年生	5.9%	5.9%

2 成果

①図書館、公民館や学校図書館における児童書の貸出冊数が増えている。

図書館においては、児童書の買い換えが進み、資料が新しくなってきたこと、また、学年別、テーマ別のブックリストを作成し、資料とともに展示を行うことで、貸出冊数の増加につながったと考えられます。さらに団体貸出については、新規の団体も増えていることも児童書の貸出冊数の増加につながっています。学校図書館においては、司書教諭(※5)、学校司書(※6)を中心とした読書活動の積極的な取組により貸出冊数が増加したと考えられます。

※5 司書教諭養成の講座を修了し、資格を取得した教員

※6 校長の指示に基づき、教職員と連携しながら、学校図書館の環境整備、蔵書の管理等への支援、児童生徒の学校図書館の利用や読書に関する授業及び指導への支援等を行う市臨時職員

②「読書タイム」が、子どもたちの学校生活に定着した。

学校における子どもの読書活動推進に係るアンケート調査(※7)によると、各小中学校とも継続し、ほぼ毎日「読書タイム」に取り組み、読書の時間の確保に努めたことで、「読書タイム」が定着してきました。また、「推薦図書百選」の紹介や、「多読者の記録」を表彰するなど、子どもたちの意欲を高める独自の取組を行った学校もありました。

※7 平成28年8・9月実施 全小中学校対象

③学校司書と教職員が連携して、計画推進に取り組み、各学校での読書活動の充実を図ることができた。

学校における子どもの読書活動推進に係るアンケート調査によると、「学校司書と教職員との連携」については、小学校12校のうち10校で、また中学校は5校のうち4校が「十分達成されている」「ほぼ達成されている」と回答しています。学校司書が、教職員と連携しながら、学校図書館の環境整備、学習資料の準備、授業への支援、読書に関する行事の企画支援等を行うことにより、読書活動が活性化しました。

④学校図書館の学校図書館図書標準達成率の向上、また全小中学校における学校図書館システムの導入等、学校図書館の整備が進んだ。

蔵書冊数については、学校図書館図書標準(※8)の100%達成を目標に計画的に整備を進め、平成27年度末には、市全体では、111:0%となりました。図書購入システムの導入により、各学校におけるデータベース化が進み、さらに平成28年度には、全ての学校に学校図書館システムを導入したことで、図書の貸出、返却が正確、迅速にできるようになり、効率的に蔵書が管理できるようになりました。また、各学校同士で蔵書の情報について共有できるようになり、学校間の連携が深まりました。

※8 文部科学省が示す、学級数に応じた整備すべき基準蔵書数

⑤幼稚園や保育園(所)では、図書館による団体貸出を利用するなどして絵本を充実させ、読み聞かせが充実した。

図書館と連携し、団体貸出を利用したり、お話会を実施したりしている園があります。また、保育の中で、図書館に出掛け、本を借りる経験をしている園もあります。各園で子どもの興味・関心に応じた絵本を読み聞かせることで、本に親しむ機会としています。

⑥「はじめまして、絵本」事業からのつながりにより、図書館では絵本の会への参加者が増え、小さな子どものいる家庭に、本の楽しさを伝えることができた。

平成24年度からブックスタート事業(平成26年度より「はじめまして、絵本」事業)を始め、絵本の配布も年々増加し、平成27年度は乳児相談対象者の98%に絵本を配布することができました。毎月の実施日には、乳児と保護者に実際に絵本の読み聞かせをし、「絵本の会」の案内を行ったことにより、直後の「絵本の会」への参加につながり、ひいては乳幼児のいる家庭に絵本の楽しさを伝えることができました。また、くつろいで読書してもらえるよう児童室の「おはなしのへや」に育児関係の資料と、乳幼児向けの絵本のコーナーを設けました。

⑦図書館による学校図書館への支援の充実により、学校図書館の整備や、授業による活用が推進された。

移動図書館車の学校訪問や、出張ブックトークを行いました。また、学校図書館の運営相談(除籍・書架整理等)を行いました。資料については、千葉県教職員互助会の寄贈事業を受けるなど、学校配本用資料の整備に努めました。また、学校司書の授業支援に役立つように全小中学校に国語科教科書と、中学校には調べ学習用に修学旅行関連の資料を団体貸出ししました。

⑧子どもの読書活動に係る幼稚園・保育園（所）や小中学校、高等学校、特別支援学校と関係機関、ボランティア団体等が、共に研修や情報交換を行う連絡会の開催により、連携が深まった。

毎年8月に行っている子ども読書活動推進連絡会において、日頃の読書活動の取組についての情報交換や推進計画をふまえた読書活動の推進の方策について協議等を行っています。それぞれの活動の様子や取組、課題を知ることで、連携が深まり、それぞれの活動の見直しを行うことができました。

3 課題

前述のとおり、第二次計画策定の際のアンケート調査の結果に比べ、読書が好きな子どもの割合が減少しているということから、第三次計画策定にあたっては、読書が好きな子どもの割合の増加を目指して次の4つの課題に対する方策に重点を置く必要があると考えます。

①図書館及び学校図書館の蔵書の充実

アンケート調査によると、図書館の児童書・青少年図書のさらなる充実が求められています。基本図書の入れ替えを進めるとともに、利用する子どもたちや時代のニーズも取り入れながら、バランスを考えた蔵書構成を図っていくことが必要です。学校図書館においても、蔵書の充実が求められています。本の入れ替えをしながら、子どもたちの自主的な読書活動につながるように、調べ学習で活用しやすい本、豊かな心を育てる本などをバランスよく整備することが必要です。

②図書館・学校図書館の効果的な活用

子どもの読書活動の推進には、読書のすばらしさや学ぶことの面白さを教える大人の存在が重要です。専門職員（図書館司書、司書教諭、学校司書）をより充実させることも大切な要素です。専門職員の積極的な働きかけにより、子どもたちが、自主的にさまざまな場面で図書館や学校図書館を活用できるようにする必要があります。特に学校図書館においては、学校司書の支援により、各教科の学習で学校図書館を効果的に活用し、児童生徒の資料活用能力を高めることが求められています。また、必要な本をそろえるための学校間の連携についての具体的な方策が必要です。

③家庭での読書活動への働きかけ

どの子どもにも読書習慣が身に付くようにするためには、家庭での取組が大きな役割を担っています。現在行っている「はじめまして、絵本」事業をはじめ、乳幼児の頃からの読み聞かせに始まり、年齢が上がっても家族で読書が楽しめるよう、子どもから大人まで楽しめる本の紹介等を関係機関が継続して情報提供していくことが必要です。

④図書館、学校等の連携・協力体制の強化

子どもの読書活動をさらに推進するために、保育所、幼稚園、学校、図書館、ボランティア団体、その他関係機関が連携して継続的に情報提供や事業展開を行うことが必要です。関係各所が課題や具体的方策について共通認識をし、連携・協力体制を強化することが求められています。

第2章 第三次計画の策定

1 趣旨

本市では、平成19年度末に「すべての子どもに読書の喜びを」をスローガンに第一次計画を策定してから、読書の大好きな子どもを育てるためにさまざまな取組を進めてまいりました。読書によって身に付けた幅広い教養と豊かな心は、将来自分の未来をたくましく切り拓いていく大きな力につながることから、平成23年度末に策定した第二次計画では、計画推進のスローガンを「読書で拓く 子どもの未来」とし、各事業を推進してきました。

第一次計画、第二次計画共に、計画推進の根幹には「読書の大好きな子どもを育てるには子どもの身近にいる大人による働きかけが重要である」という考えがありましたが、第二次計画の取組の大きな成果として、子どもの読書活動推進に携わる子どもの身近にいる大人（教職員、学校司書、図書館司書、ボランティア、保健師等）のネットワーク作りが進んだことが挙げられます。子どもの身近にいる大人が、共通理解の下に働きかけをしていく下地が固まってきたといえます。

第三次計画では、第二次計画で培ったネットワークを基にして、子どもの身近にいる大人が、さらに連携を深めながら、それぞれの立場で適切に、そして継続的に子どもに働きかけをしていくことが望まれます。

そこで、第三次計画においても、計画推進のスローガンを第二次計画に引き続き「読書で拓く子どもの未来」とし、家庭・地域・学校等、それぞれの場での読書活動の充実によって、子どもが読書から多くのことを学び、人生をより深く生きる力を身に付けることができるよう、家庭・地域・学校等の役割を明確に示し、それぞれの場で実施する事業を計画しました。また、第二次計画における成果と課題や、子どもたち、保護者、学校へのアンケート調査の結果を踏まえ、事業を整理するとともに、目標数値も実現可能なものとなるよう見直しを図りました。

基本方針については、次のように定め、より一層の読書活動の推進に取り組んでまいります。

2 基本方針

(1) 子どもの読書活動を支える読書環境の整備・充実

子どもが本を必要としたときに、その子どもにとって魅力のある本がいつも身近にあるよう、図書資料をはじめ、施設設備も含めた読書活動に係る環境の整備・充実に努めます。

また、保護者をはじめ、学校等の教職員や学校司書、ボランティア、図書館の職員、地域の大人など、子どもの読書活動に係るさまざまな立場の大人が、子どもと一緒に本を読んだり、読書の楽しさや素晴らしさ、大切さを子どもに伝えたりしながら、子どもの自主的な読書活動を支えていくことができるよう人的環境の整備・充実に努めます。

(2) 家庭・地域・学校等の関係機関の連携・協力の推進

学校、幼稚園・保育園（所）、図書館、こどもルーム等やボランティアグループ等の民間団体、教育委員会など、子どもの読書活動に係る関係機関が連携し、家庭や地域の方々とともに読書活動の推進に取り組みます。

(3) 子どもの読書活動に関する理解・関心の普及

子どもの読書活動の意義や重要性について、さまざまな場面で広く普及・啓発を図るよう努め、市民の理解と関心を深めるようにし、市全体で子どもの読書活動を推進していく気運を高めてい

きます。

3 計画の期間

平成29年度からおおむね5年間とします。

なお、この期間中において必要に応じて見直しを行います。

4 計画の対象

本計画でいう「子ども」とは、おおむね18歳以下の者をいいます。

5 財政上の措置

本計画に掲げられた事業等を推進するため、市をはじめ関係機関等は、その役割に応じた財政上の措置を講じるよう努めます。

第3章 計画推進のための方策

1 家庭における推進方策

生まれたばかりの赤ちゃんが、読書習慣を身に付けた人に育つには、身近な大人の関わりが大きく影響します。家庭は、子どもが初めて本や物語と出会い、読書の楽しさを知るところです。文字が読めなくても、読み聞かせによる親子のふれあいは情緒と言語の発達を促します。また、子どもが多くの時間を過ごす家庭での読書環境を整えることで、子どもの読書活動の活性化が期待されます。

(1) 家庭の役割

子どもが読書習慣を身に付けるためには、乳幼児期から本が身近なもので、楽しいものという体験が不可欠であり、そのために家庭の果たす役割は非常に大きいと思われれます。

昨今、家庭環境や生活スタイルの変化により、家族で過ごす時間の減少やスマートフォン・携帯電話等の普及によるインターネット依存症などが話題になっています。まずは保護者が読書の大切さ、楽しさを認識し、読書活動への理解を深める必要があります。

そして、乳幼児期から子どもと一緒にわらべうたを歌う、読み聞かせを行う、子どもと一緒に本を読むひとときを持つ、良い本との出会いの機会を作るなど、子どもと親が共に読書する体験が、ごく自然に家庭生活の中で行われていることが大切です。

こうした子どもにとって、最も身近な家庭における子どもの読書活動を推進することにより、読書が大好きな子どもの育成を目指します。

【事業内容】

事業項目	事業番号	事業の内容	所管課
乳幼児への働きかけ	1	絵本やわらべうた、手遊びうたの紹介等、保護者への情報提供や啓発を行う。	図書館 社会教育課 (公民館) 保育課 健康増進課
子育て学習講座の実施	2	子育て学習講座を通じて、家庭において子どもが保護者の愛情を感じながら読書の楽しさを体得し、読書に関する興味や関心を引き出すように子どもに働きかけられる啓発を保護者に対して行う。	社会教育課
地域・家庭教育学級への読書活動支援	3	地域・家庭教育学級を実施しようとする者に、読書活動に関する講師などの情報提供を行う。	社会教育課

<p>家庭への啓発と情報発信</p>	<p>4</p>	<p>家庭での保護者による読み聞かせの大切さや、意義について理解と普及を図るために、親子を対象とするイベントや保護者を対象にした講習会等を実施する。</p>	<p>社会教育課 （公民館） 指導課 図書館 保育課</p>
--------------------	----------	--	--

2 地域における推進方策

子どもが、その成長とともに活動の場を広げていく地域社会には、それを助ける拠点となる様々な施設があります。

中でも図書館は、市民がさまざまな情報を得たり、読書を楽しんだりする生涯学習の大きな拠点です。また、公民館の図書室やこどもルームも、地域で過ごす時間の多い子どもたちにとって、本とふれあうことのできる身近な場所です。

図書館や公民館、こどもルーム等の地域に密着した施設が、地域の方々と連携しながら子どもの読書環境の整備に努めることで、子どもの読書活動の活性化が期待されます。

(1) 図書館の役割

図書館は、様々な年齢層の人とともに、子どもが多くの本と出会う場所です。選ばれた豊かな本の中から、子どもは好きな本を自由に手に取ることができ、また、周囲の大人が子どもの発達に即した適切な本を選んで手渡すことができます。

図書館では、より多くの子どもが読書の楽しさを知り、その楽しさを共に分かち合うことのできる機会を、おはなし会等の行事・様々なテーマを取り入れた展示・各年代に向けたブックリストの作成等を通して提供していきます。

子どもに多様な読書の機会を提供するためには、児童室の環境整備と資料の充実や、子どもを取り巻く大人の認識、理解が大切です。

そのため、子どものための図書資料の収集、読書環境の工夫、レファレンス(※9)や読書相談の充実を図り、多種の児童サービスに対応できるように職員の育成に努めます。

※9 利用者が調べたいことについて、必要とされる資料を検索、提供、回答することにより支援する仕事

【事業内容】

事業項目	事業番号	事業の内容	所管課
移動図書館の活用促進	5	より多くの子どもが移動図書館の本を利用できるよう、移動図書館車の学校訪問によるPRを行う。さらに、貸出・返却を行うステーション(※10)の再編成・整備を行う。	図書館
児童、青少年の図書の充実	6	基本図書の買い替え補充、蔵書の精選、新刊補充を行うとともに、読み聞かせ、お話し会、青少年対象のサービス、各種本の紹介のための研究資料の充実に努める。	図書館
職員研修の充実	7	内部研修を充実させ、千葉県公共図書館協会、各種専門機関の研修に参加する。	図書館
フロアワーク(※11)の充実	8	児童専任司書を常時、児童室に配置し、子どもへの読書相談やレファレンスの充実を図る。	図書館

レファレンス・読書案内の充実	9	レファレンス記録を活用し、選書や読書案内等へ反映させ、展示、ブックリスト等を活用した本の紹介を行う。	図書館
子どもと本をつなぐ大人への支援	10	保護者、保育者、教職員、ボランティア等に対し、子どもの本の選択、読み聞かせ等の相談に応じ、資料提供や助言等の学習支援を行う。	図書館
読書感想文・感想画コンクールの実施	11	小中学生対象の「読書感想文・感想画コンクール」を開催する。	図書館
「はじめまして、絵本」等、子どもと本を結ぶ事業の推進	12	乳児相談時の絵本の配布や、発達段階に応じた区分による「絵本の会」「お話会」等を実施する。	図書館 健康増進課
子どもに関わる機関、施設等への支援	13	子どもに関わる機関、施設等の選書支援と読書相談を行う。	図書館
団体貸出の充実	14	幼稚園、保育園（所）、学校等への貸出の充実に努める。	図書館

※10 移動図書館が定期的に巡回する拠点

※11 書架の間をめぐって子どもたちと接する読書援助の仕事

(2) 公民館、こどもルーム等の役割

住民にとって身近な社会教育施設である公民館の図書室は、子どもたちにとっても身近な地域の図書館です。子どもの読書活動推進に向けて、蔵書の整備と並行して、読書案内リーフレットや新刊図書コーナーの設置、夏休み読書感想文課題図書コーナーの設置など、子どもが本にふれあい、読書に親しむ機会を提供していきます。

こどもルームは、放課後や夏休み等の長期休業において、子どもたちにとっての第二の学校であり、第二の家庭でもあります。こうした子どもの居場所においても、読書環境を整備し、読み聞かせ等で積極的に子どもに働きかけ、読書活動を推進することが求められています。

【事業内容】

事業項目	事業番号	事業の内容	所管課
公民館親子教室での啓発	15	公民館主催講座の親子教室内で、読書や読み聞かせについての啓発に努める。	社会教育課 (公民館)
公民館図書室の資料の充実	16	各公民館図書室の蔵書の整備を計画的に行い、常設の新刊図書コーナーや、期間限定で小中学生を対象に夏休み読書感想文課題図書のコーナーを設置する。	社会教育課 (公民館)
こどもルームにおける読書活動の推進	17	こどもルームの児童向け図書の充実に努めるとともに、読み聞かせ等、子どもが本とふれあう機会を確保する。	保育課 指導課

3 学校等における推進方策

子どもの読書習慣を形成していく上で、幼稚園・保育園（所）・学校は大きな役割を担っています。楽しんで本を読み、読書の幅を広げていくことができるような環境を整備し、適切な支援を行うことが求められます。

(1) 幼稚園・保育園（所）の役割

幼稚園・保育園（所）においては、子どもに語りかけること、また絵本を読んだり見せたりすることを通して、乳幼児期から言葉や心を育て、生涯にわたる読書習慣の基礎を培うことが大切です。

また、家庭に対しては、幼稚園・保育園（所）が行っている子育て支援の一つとして、読み聞かせ等の大切さや意義を理解してもらうための取組が必要となってきます。

幼稚園・保育園（所）以外でも乳幼児をとりまく地域の中で、施設や地域の方々、保護者との連携・協力を得ながら、絵本等にふれる機会が持てるよう工夫していくことも大切です。

【事業内容】

事業項目	事業番号	事業の内容	所管課
乳幼児向け図書の充実	18	季節・年齢に合った絵本などの乳幼児向け図書の充実に努める。	保育課 指導課
読書環境の整備	19	絵本や物語を中心として、子どもたちが本に興味を持つことができるよう、空間づくりを工夫するとともに、本に親しむ時間を確保する。	保育課 指導課
お話会の実施	20	ボランティアや図書館等と連携し、親子で楽しむお話会を実施する。	保育課 指導課 図書館
職員研修の実施	21	職員研修を実施し、読み聞かせの大切さや、意義、効果的な読み聞かせの方法等についての理解を深める。	保育課 指導課
家庭の啓発・家庭への情報発信	22	乳幼児向けの絵本紹介をするなど、家庭での読み聞かせの大切さや意義についての理解とその普及に努める。	保育課 指導課

(2) 小中学校の役割

学校は、児童生徒の読書習慣を形成していく上で大きな役割を担っています。乳幼児期から小学校に入学するまでの間、生活環境の違い等により、子どもが経験してきた読書体験には大きな個人差が見られます。さまざまな情報メディアのあふれる生活環境の中で、スマートフォンを使ってのコミュニケーションやテレビ、コンピューターゲームに多くの時間を費やす子どもも少なくありません。そのような中で、学校の教育活動の中では、すべての子どもに、本と出会う機会や読書時間を保障することができます。

各学校は、司書教諭が中心となって各事業を推進することができるよう、校長のリーダーシップのもと、各学校の実情に応じて司書教諭の校務分掌上の配慮を行うなど工夫し、教職員の協力体制づくりに努めます。また、司書教諭及び図書主任は、読書活動の推進計画、学校図書館の運営計画等を立案するとともに、学校司書やボランティアとの連携の要となるよう努めます。

第二次計画に引き続き、読書タイムを実施したり、ボランティア等と連携したお話会を実施したりすることにより、本との出会いの場を意図的に設定していきます。また、学校図書館資料の充実を図るとともに、子どもが意欲的に読書に取り組むことができるよう、各学校での子どもの発達段階に応じた働きかけを工夫していきます。

学校司書による支援も大きな鍵となります。司書教諭や図書主任が中心となり、学校司書と教職員が連携して、各教科、特別活動、総合的な学習の時間等で学校図書館を活用した授業を、年間指導計画の中に位置づけ、展開するようにします。また、すべての教職員の共通理解のもと、学校図書館を中心とした読書活動を推進できるよう、教職員の意識と指導力の向上を図る研修も行います。さらに、学校図書館システムを有効活用し、学校間で連携を深め、児童生徒へ充実した資料提供や蔵書管理を行っていきます。保護者・ボランティアとも連携・協力を深めながら、学校全体で読書の好きな子どもの育成に努めます。

【事業内容】

事業項目	事業番号	事業の内容	所管課
読書タイムの実施	23	全校で読書に取り組む時間を学校の実態に合わせて位置づけ、教職員も読書をする。	指導課
ボランティア等と連携したお話会の実施	24	ボランティアの支援による読み聞かせなどを実施し、学年・学級単位でのお話会を推進する。	指導課
特別支援学級での読み聞かせの実施	25	学級担任・教科担任・学校司書が学習の中で読み聞かせを行ったり、ボランティアによる読み聞かせを行う。	指導課
調べ学習の充実	26	各教科、総合的な学習の時間等の学校図書館を利用した調べ学習を、年間指導計画の中に位置付けて推進する。	指導課
学校図書館資料の充実	27	本の入れ替えをしながら、学校図書館図書標準の100%達成を目指し、図書資料を、国語の教科書で紹介されているもの、調べ学習で活用できるもの、心を育てるもの、子どもの興味・関心の高いものなど、バランスよく整備する。	指導課
読書活動推進に係る教職員研修の充実	28	教職員が市内小中学校の現状と課題を踏まえて研修を深め、自校における読書活動の推進を図ることができるよう市主催研修を開催する。	指導課

読書行事の開催	29	「読書の日」など、学校の実態に応じて読書に親しむきっかけとなる行事を委員会活動等で企画する。	指導課
児童生徒によるお話会の実施	30	小学校において高学年が低学年に読み聞かせを行う、中学生が小学生に本の紹介を行う、小学生が幼稚園（保育園）児に紙芝居を行う等、交流お話を実施する。	指導課 保育課
家庭の啓発・家庭への情報発信	31	学校だより、図書だよりなどの中で、児童生徒向けの情報、家庭向けの情報を発信する。	指導課
学校司書の配置	32	児童生徒への読み聞かせや、図書の紹介、調べ学習等の授業の支援、学校図書館の環境整備を行う学校司書を全小中学校に配置する。	指導課
	33	学校司書の派遣日数や派遣時間の増加を図る。	
学校司書の研修の充実	34	学校司書の研修会を開催し、各校の取り組みの共有化とあわせ、学校司書の資質の向上を図る。	指導課
教職員と学校司書の連携の強化	35	学校の実態に応じて、司書教諭を中心に、教職員と学校司書とが連携して、学校図書館を活用した授業の推進を図るとともに、児童生徒の発達段階に応じた適切な本の紹介を行い、読書活動の活性化を図る。	指導課
学校図書館システムの活用	36	小中学校の蔵書のデータベース化により、効率よく本を提供できるよう、学校間で情報を共有できるシステムの効率的な運用を図る。	指導課
「四街道子どもブックリスト」の作成と活用	37	児童生徒の意見を取り入れながら、子どもの読みたい本、子どもに読ませたい本のリストを作成し、活用することで、読書活動の充実を図る。	指導課

4 家庭・地域・学校等間の連携・協力の推進

子どもが生活のさまざまな場で本と出会い、読書に親しむことができるよう、行政機関がコーディネートし、子どもの読書活動に係る関係機関・家庭・地域の連携・協力を推進していきます。

これまでもボランティアが各学校の読書活動の推進を支えてきましたが、ボランティア間の連携を深め、より一層のボランティア活動の充実を図ります。

【事業内容】

事業項目	事業番号	事業の内容	所管課
子どもに関わる機関、施設等への支援 (再掲)	38	子どもに関わる機関、施設等の選書支援と読書相談を行う。(再掲13)	図書館
団体貸出の充実 (再掲)	39	幼稚園、保育園(所)、学校等への貸出の充実に努める。(再掲14)	図書館
見学の受け入れ	40	子どもたちが図書館に親しむ機会として、可能な範囲で図書館内の見学を受け入れる。	図書館
児童生徒によるお話会の実施(再掲)	41	小学校において高学年が低学年に読み聞かせを行う、中学生が小学生に本の紹介を行う、小学生が幼稚園(保育園)児に紙芝居を行うなど、交流お話会を実施する。(再掲30)	指導課 保育課
ボランティアによる支援の充実	42	ボランティアの支援により、読書活動の活性化を図る。	指導課 保育課
「子ども読書活動推進連絡会」の開催	43	子どもの読書活動に係る幼稚園・保育園(所)や小中学校、高等学校、特別支援学校と関係機関、ボランティア団体等が、共に研修や情報交換を行う連絡会を開催する。	指導課 図書館 保育課 社会教育課 健康増進課

5 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもの読書活動を推進するにあたり、子どもの周囲の大人が読書活動の意義について十分な理解と関心を持つことが重要です。そのため、子ども読書活動推進に向けた施策、事業について、様々な機会を捉え、保護者を含めた市民への広報活動に努めていきます。

【事業内容】

事業項目	事業番号	事業の内容	所管課
乳幼児への働きかけ（再掲）	44	絵本やわらべうた、手遊びうたの紹介等、保護者への情報提供や啓発を行う。（再掲1）	図書館 社会教育課 （公民館） 保育課 健康増進課
子育て学習講座の実施（再掲）	45	子育て学習講座を通じて、家庭において子どもが保護者の愛情を感じながら読書の楽しさを体得する。また、読書に関する興味や関心を引き出すように子どもに働きかけられる啓発を保護者に対して行う。（再掲2）	社会教育課
家庭への啓発と情報発信（再掲）	46	家庭での保護者による読み聞かせの大切さや、意義について理解と普及を図るために、親子を対象とするイベントや保護者を対象にした講習会等を実施する。（再掲4）	指導課 社会教育課 （公民館） 図書館 保育課
	47	学校だより、図書だよりなどの中で、児童生徒向けの情報、家庭向けの情報を発信する。（再掲31）	指導課
情報提供の充実	48	子どもの本や読書に関する情報提供を行う。	図書館
	49	保健センターに情報掲示コーナーを設置し、お話会の案内や本のリスト等を掲示する。	図書館 指導課 健康増進課

6 推進体制の整備

本計画を充実したものとするためには、計画推進の中心となり、子どもの読書活動に係る関係機関・家庭・地域の連携・協力を推進する組織が必要です。

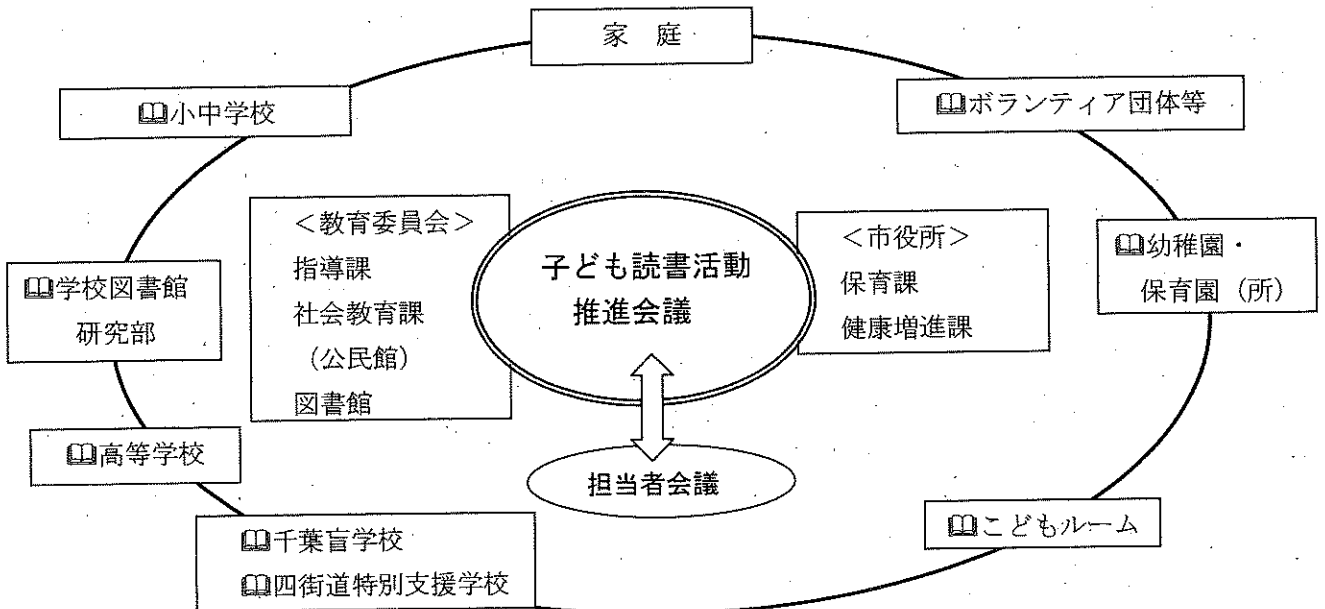
そこで、「子ども読書活動推進会議」とその下部組織である担当者会議を設置し、事業の進捗状況を確認し、計画全体について継続的に協議を行います。また、子どもの読書活動に関するすべての関係者が共通理解を図り、同じ方向を目指して本計画の積極的な推進を図ることができるよう、幼稚園・保育園（所）や学校、関係機関、ボランティア団体等が共に研修や情報交換を行う連絡会を開催し、推進会議を中心とした推進体制を整備します。

【事業内容】

事業項目	事業番号	事業の内容	所管課
子ども読書活動推進会議及び担当者会議の設置	50	本計画の事業の推進を図るため、事業の進捗状況を確認するとともに、計画全体について継続的に協議し、必要に応じて修正を行う。	指導課 社会教育課 図書館 保育課 健康増進課
「子ども読書活動推進連絡会」の開催（再掲）	51	子どもの読書活動に係る幼稚園・保育園（所）や小中学校、高等学校、特別支援学校と関係機関、ボランティア団体等が、共に研修や情報交換を行う連絡会を開催する。（再掲43）	指導課 図書館 保育課 社会教育課 健康増進課
関係機関の連携	52	関係機関の間で子どもの読書活動に関する相互の情報提供、情報交換を行い、協力して本計画を推進する。	図書館 指導課 社会教育課 （公民館） 保育課

【推進体制図】

主に、下図の関係機関等で連携・協力体制をつくり、取り組みを進めていきます。



※上図□マークの団体等は、子ども読書活動推進連絡会のメンバー

7 目標とする数値

子どもの読書活動の推進状況を把握するために目標とする数値を定めました。

計画期間を平成29度からおおむね5年としていることから、平成33年度を目標年度とします。

※(2)(3)は、特別な支援を必要とする子どもについては、支援者と共に読んだ本もカウントする。(読み聞かせも含む)

(1) 図書館・公民館における児童書貸出冊数

平成27年度末 86,661冊 ⇒ 平成33年度末 90,000冊

(2) 学校図書館における児童生徒一人あたりの貸出冊数

	平成27年度末	平成33年度
小学生	37.5冊	40冊
中学生	7.8冊	10冊

(3) 1か月に1冊も本を読まなかった子どもの割合

	平成27年度末	平成33年度末
小学校2年生	2.1%	1.0%以下
小学校5年生	4.7%	2.5%以下
中学校2年生	5.9%	3.0%以下

(4) 図書館における団体貸し出し資料の貸出冊数

	平成27年度末	平成33年度末
団体貸出冊数	5,869冊	6,500冊

卷 末 資 料

1	「読書に関するアンケート調査」の結果	・・・20
2	学校における子どもの読書活動推進に係るアンケート調査	・・・30
3	策定の経過	・・・31
4	四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	・・・32
5	四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿	・・・34
6	策定に係る教育委員会内部組織	・・・34

1 「読書に関するアンケート調査」の結果

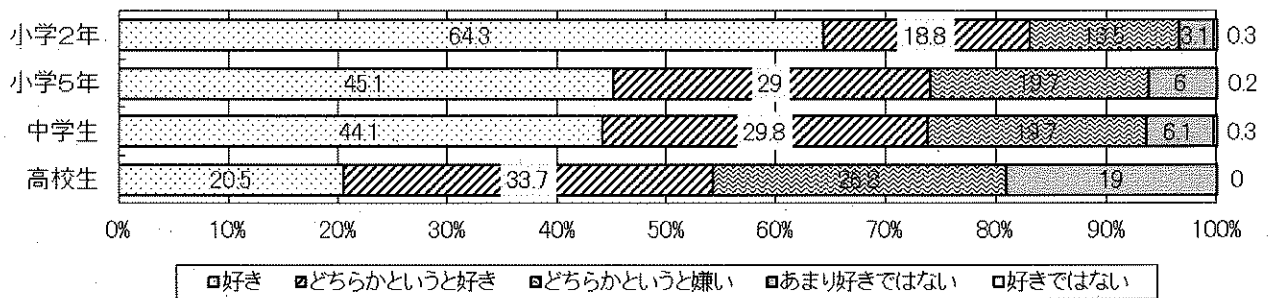
四街道市における子どもの読書活動の現状及び読書に対する意識等を把握し、第三次計画策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

1 調査時期と調査対象者 (調査時期 平成28年3月)

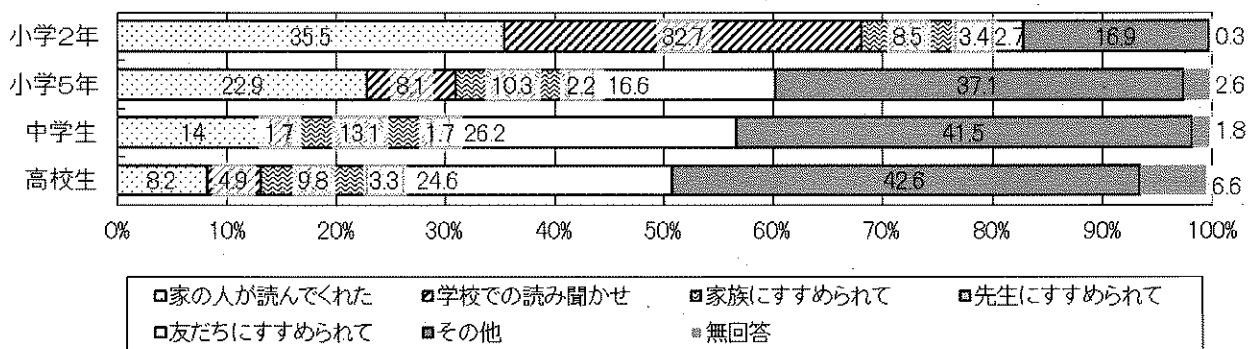
調査対象者	人数
市内小学校2年生児童	709名
市内小学校5年生児童	634名
市内中学校2年生生徒	709名
市内高等学校2年生生徒	205名
市内小学校2年生児童保護者	622名
市内小学校5年生児童保護者	458名
市内中学校2年生生徒保護者	378名

2 市内小・中・高等学校の児童生徒

(1) あなたは、本を読むことが好きですか。



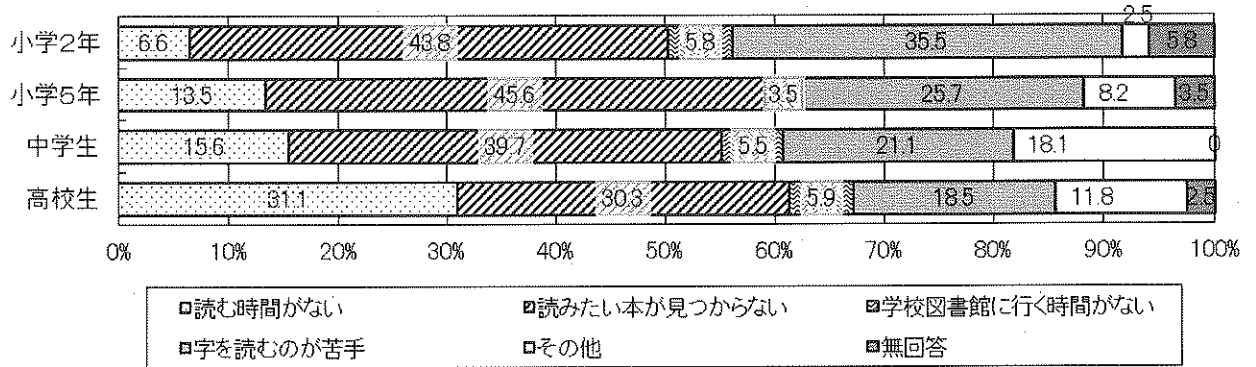
(2) なぜ本を読むことが好きですか。※(1)で「好き・どちらかという好き」が回答



※「その他」の回答

小学2年生	小学5年生	中学生	高校生
・読んでみたら楽しかったから	・読んでみたら楽しかったから	・読んでみたら楽しかったから	・読んでみたら楽しかったから
・前から好きだから	・前から好きだから	・好きな作家がいるから	・好きな映画の原作だから

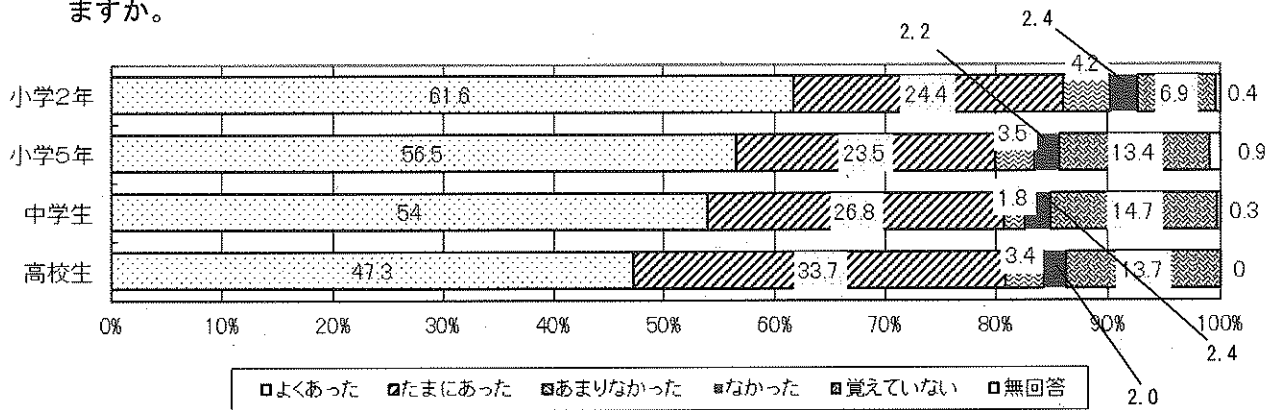
(3) なぜ本を読むことが好きではないのですか。※(1)で「あまり好きではない・好きではない」が回答



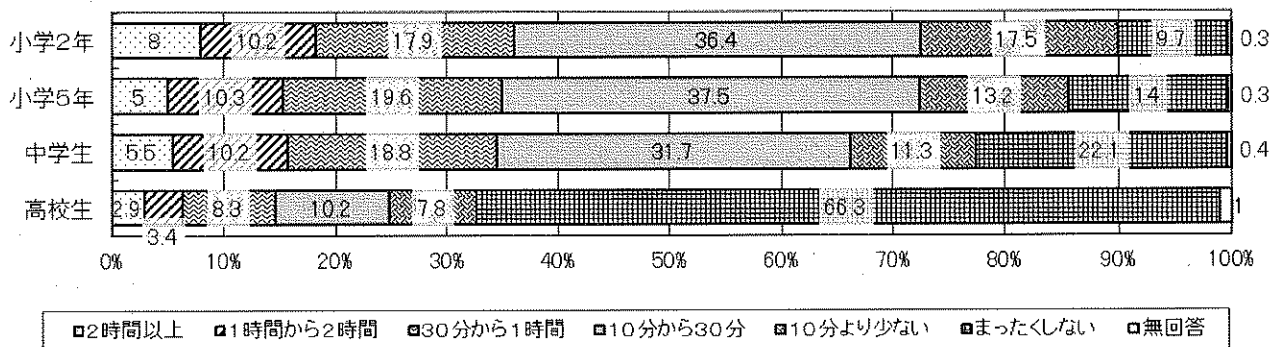
※「その他」の回答

小学2年生	小学5年生	中学生	高校生
・面倒だから	・おもしろくないから	・面倒だから	・途中で飽きてしまうから

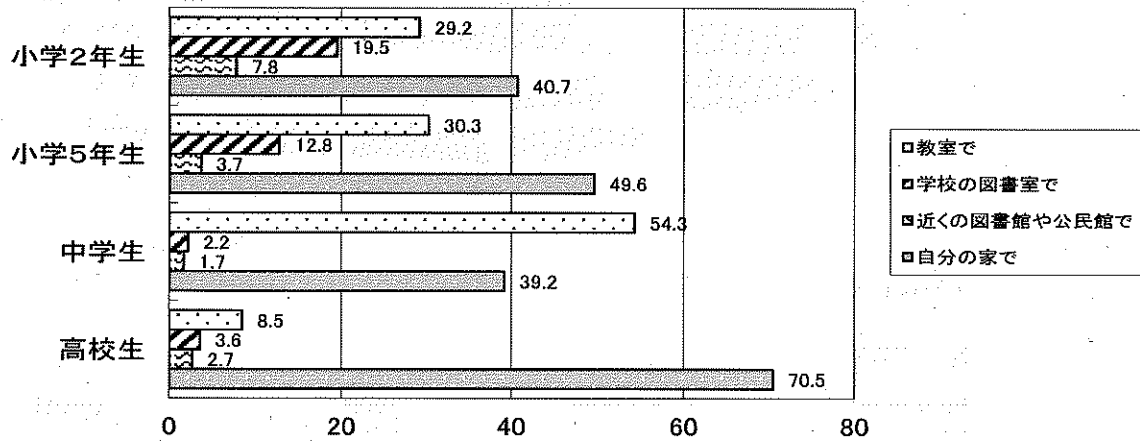
(4) あなたが小さいとき、家の人や保育園、幼稚園の先生などに本を読んでもらったことはありますか。



(5) 家や図書館で、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。）



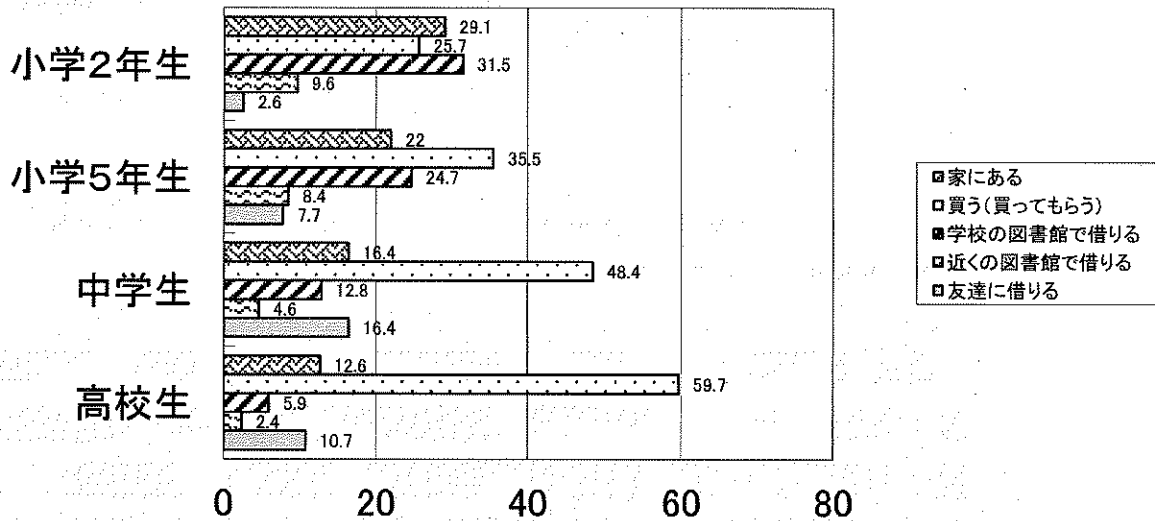
(6) あなたは本を読むとき、どこで読むことが多いですか。(複数回答)



※「その他」の回答

小学2年生	小学5年生	中学生	高校生
・外出先で	・外出先で	・外出先で	・電車の中で

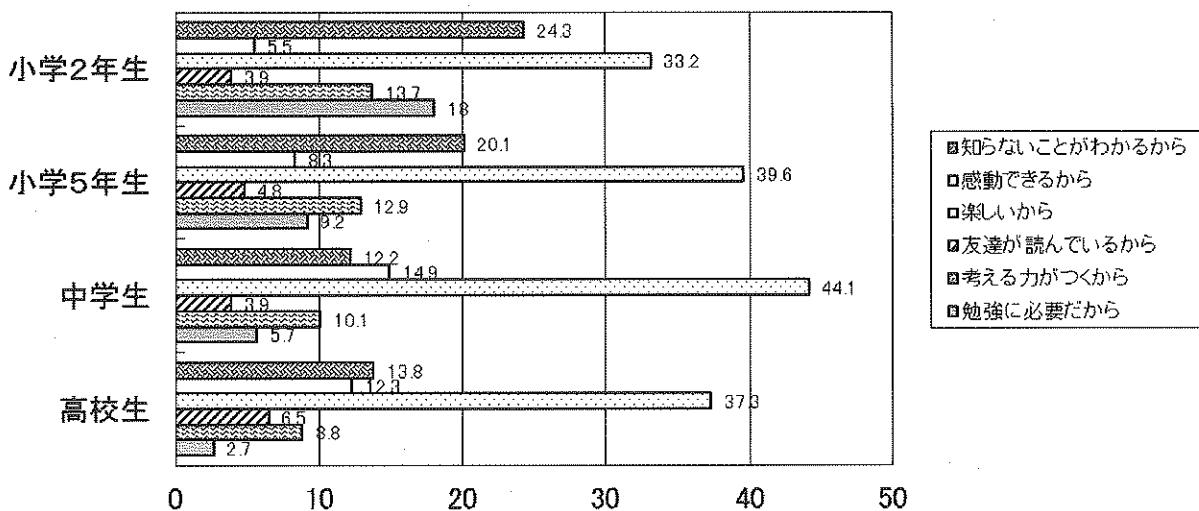
(7) あなたは本を読むとき、その本をどのようにして手に入れることが多いですか。(複数回答)



※「その他」の回答

小学2年生	小学5年生	中学生	高校生
・学童ルーム	・教室の本	・先生の本	・先生の本

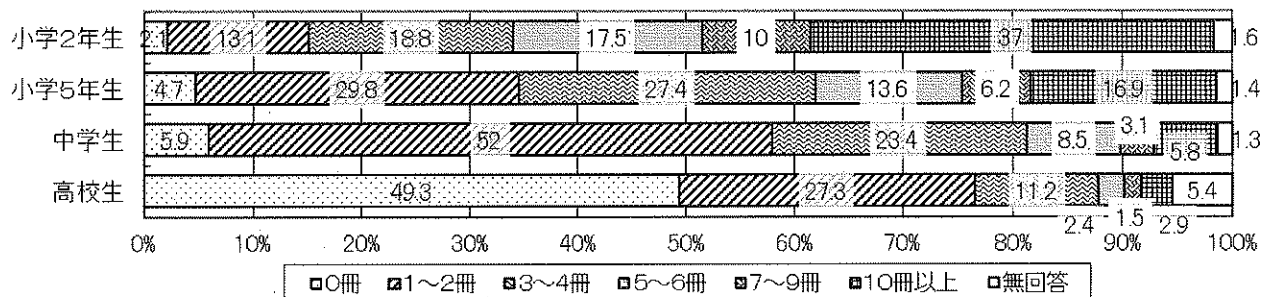
(8) あなたが本を読むのはどうしてですか。(複数回答)



※「その他」の回答

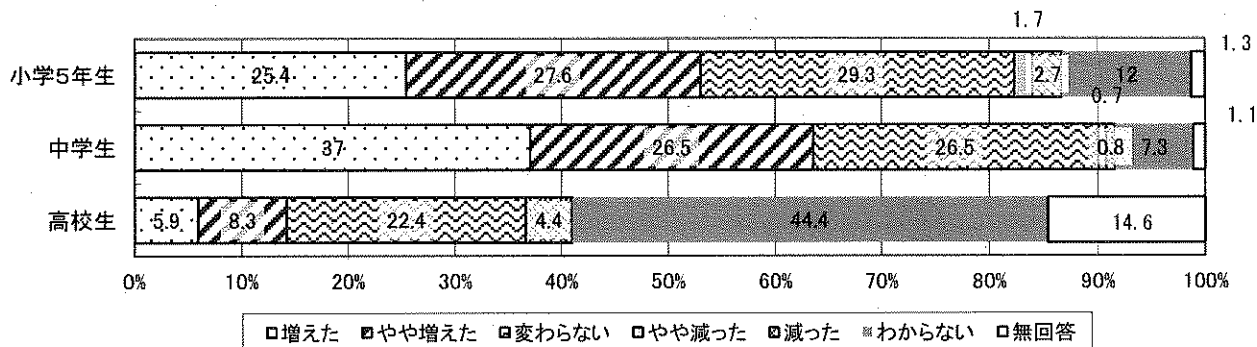
小学2年生	小学5年生	中学生	高校生
・暇だから	・おもしろいから ・暇だから	・読書タイムがあるから ・暇だから	・暇だから

(9) あなたは最近1か月間に、本を何冊ぐらい読みましたか。読んでいる途中でも1冊に入れてください。

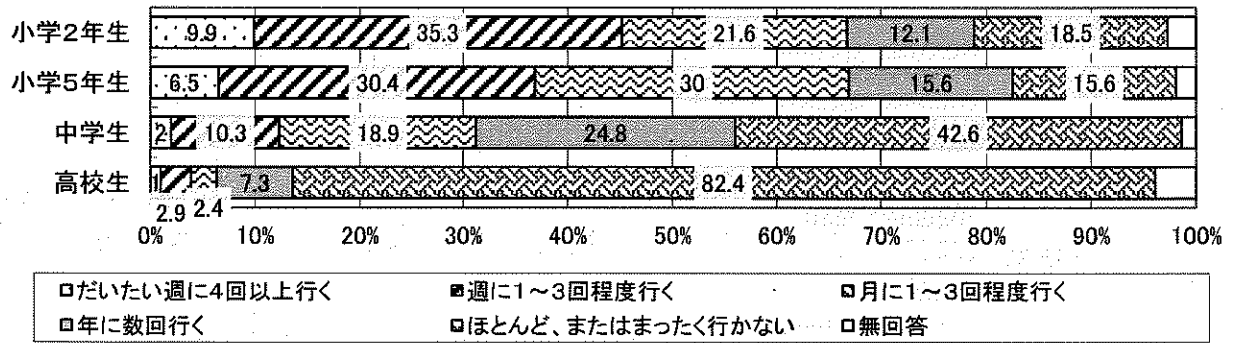


(10) 学校での読書タイムをきっかけとして、本を読む時間や回数が増えましたか。

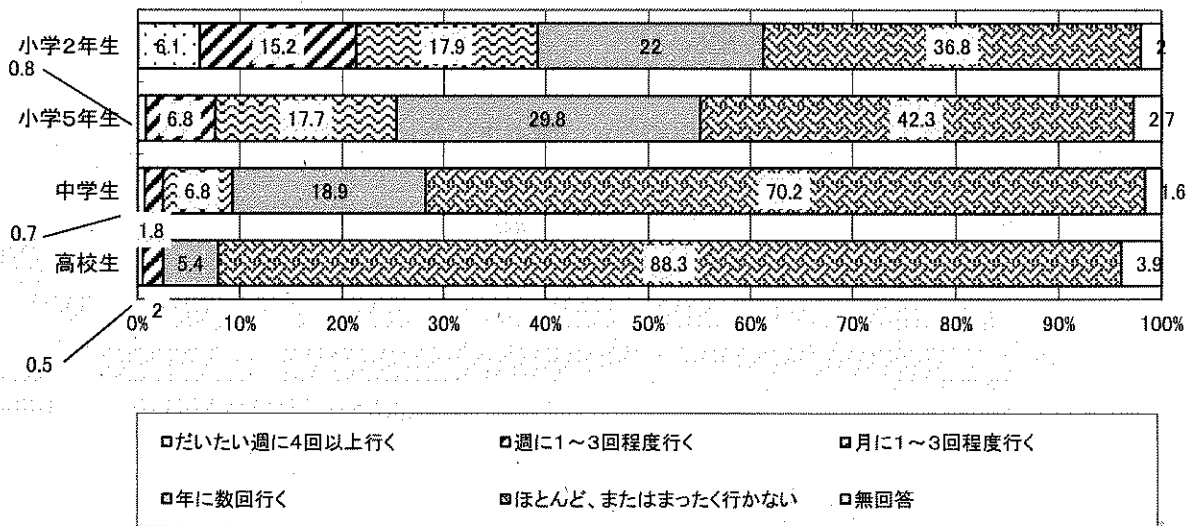
※小学2年生は実施せず。



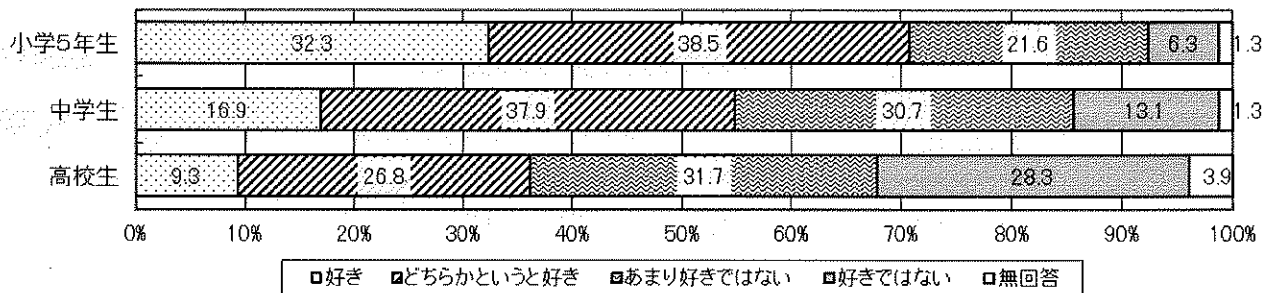
(11) 学校で、昼休みや放課後に、図書室へどれくらい行きますか。



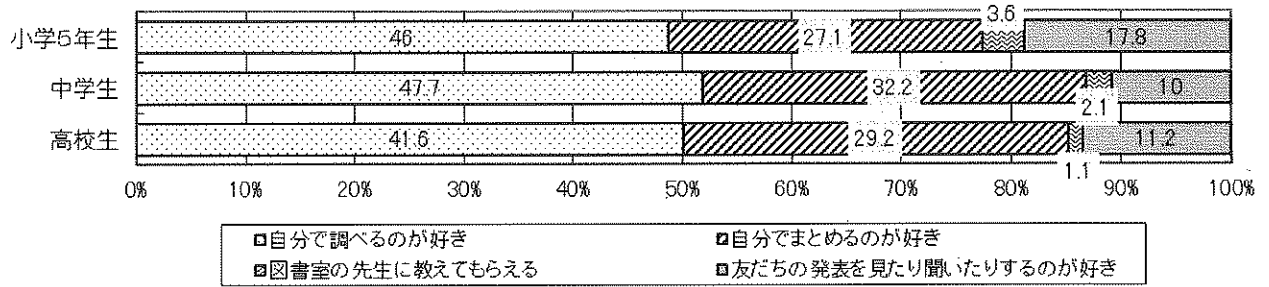
(12) 放課後や学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、図書館や公民館へどれくらい行きますか。



(13) 本を使った調べ学習は好きですか。※小学2年生は実施せず



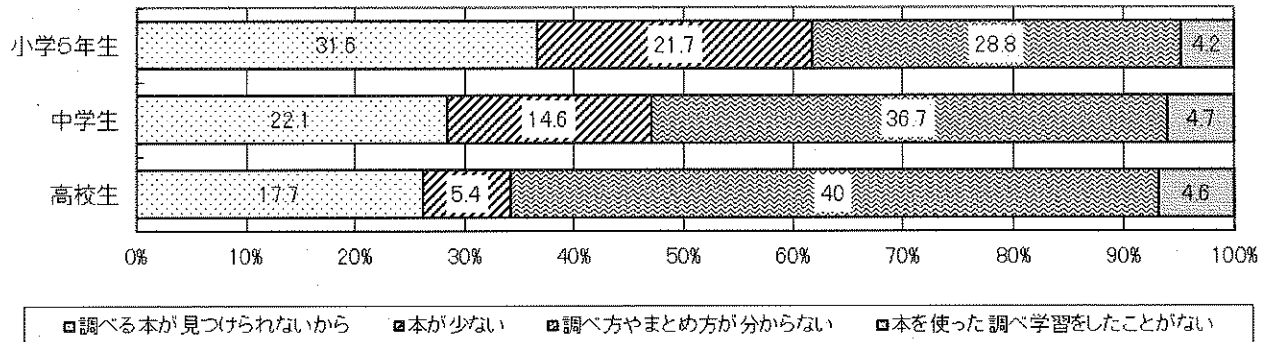
(14) 本を使った調べ学習が好きな理由。※(13)で「好き・どちらかという好き」が回答



※「その他」の回答

小学5年生	中学生	高校生
<ul style="list-style-type: none"> ・本を使って調べるのが楽しいから ・新しい発見があるから 	<ul style="list-style-type: none"> ・本が好きだから ・楽しいから 	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強よりも楽しいから

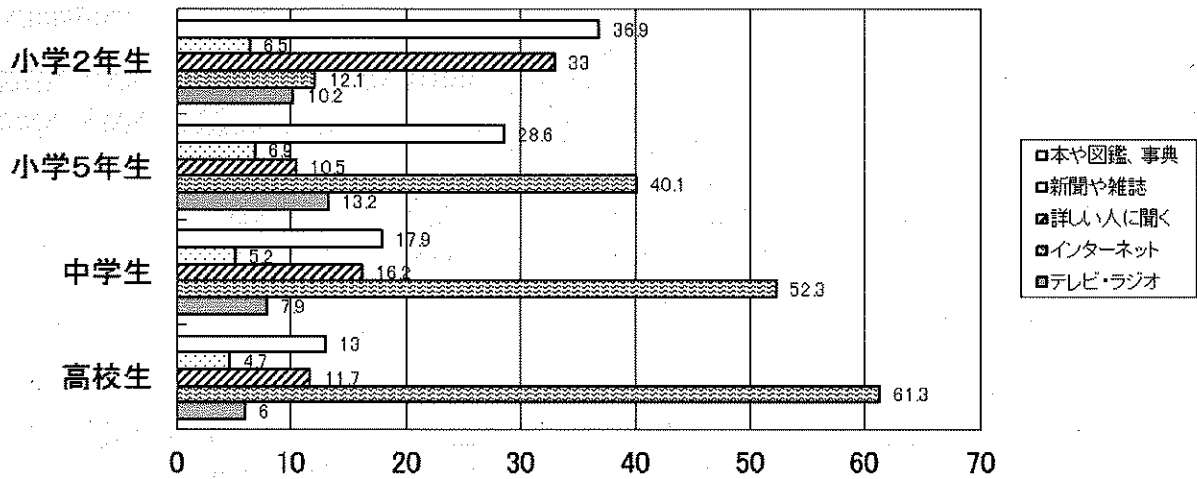
(15) 本を使った調べ学習が好きでない理由。※(13)で「どちらかという好きでない・好きでない」が回答



※「その他」の回答

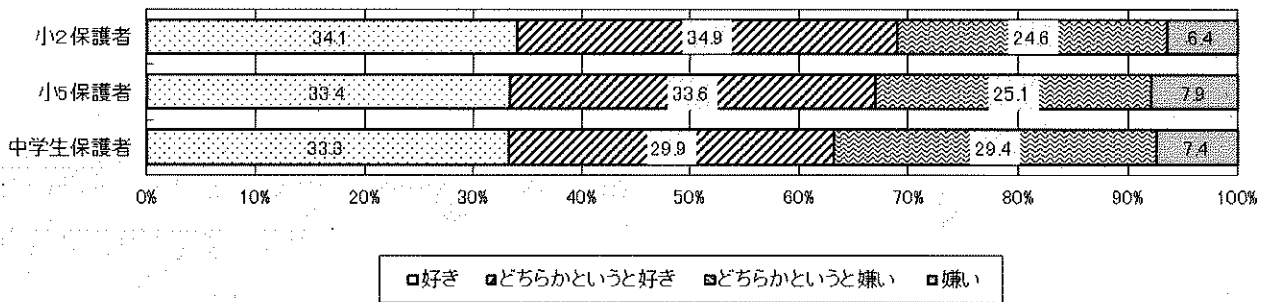
小学5年生	中学生	高校生
<ul style="list-style-type: none"> ・面倒だから ・探すのに時間がかかるから 	<ul style="list-style-type: none"> ・面倒だから ・時間がかかるから 	<ul style="list-style-type: none"> ・面倒だから

(16) 調べたいことがあるときに何を活用しますか

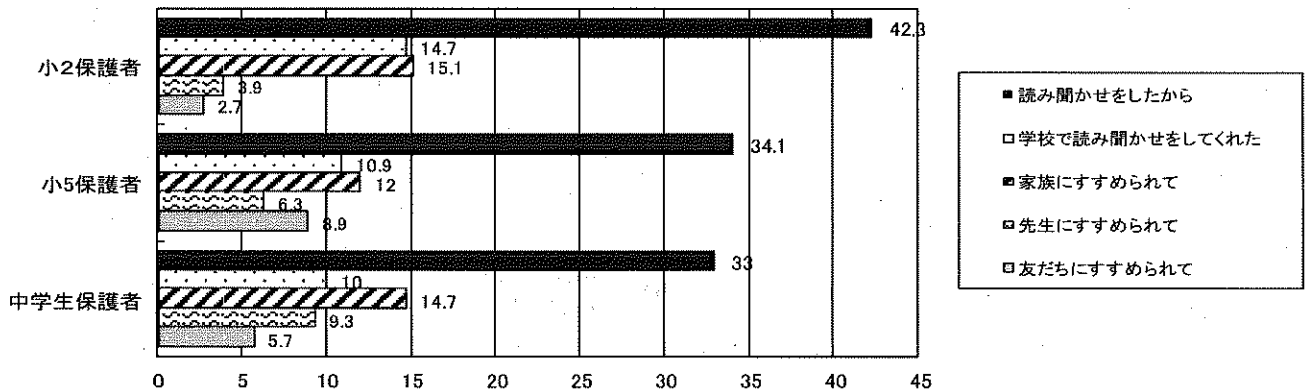


3 市内小・中学校の保護者

(1) あなたのお子さんは、読書が好きだと思いますか。



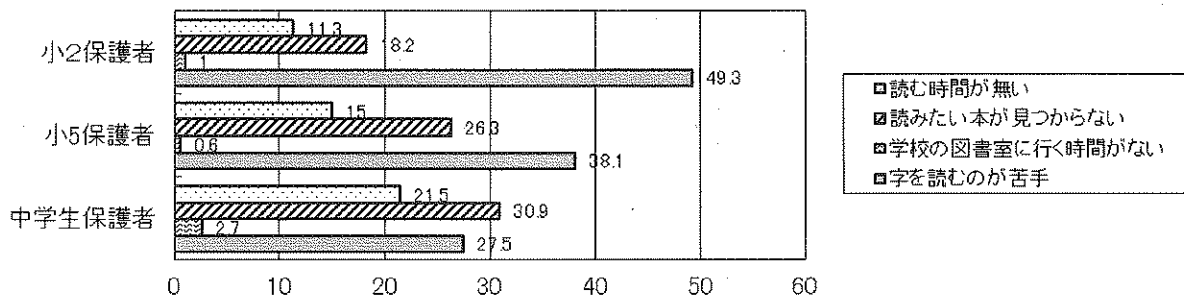
(2) なぜ読書が好きだと思いますか。※(1)で「好き・どちらかという好き」が回答



※「その他」の回答

小2保護者	小5保護者	中学生保護者
<ul style="list-style-type: none"> ・前から好きだったから ・すぐに読めるよう本を置いていたから ・好きなシリーズがあるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃から好きだったから ・家族が本を読む姿を小さい頃から見ていたから 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で本を読む時間があるから ・小さい頃から好きだったから

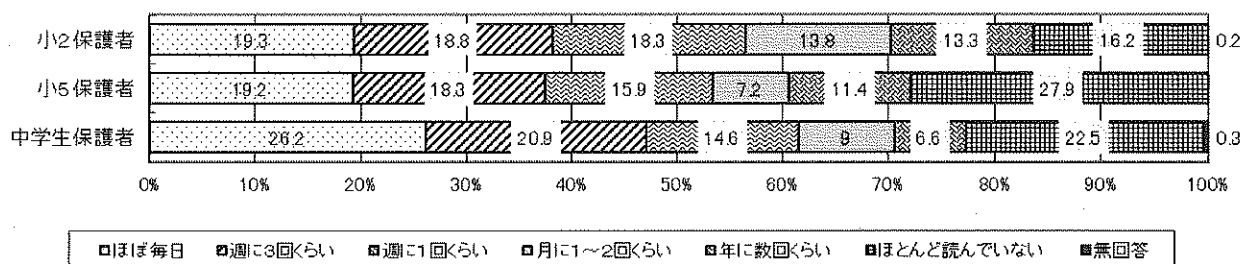
(3) なぜ読書が好きではないと思いますか。※(1)で「どちらかという好きではない・好きではない」が回答



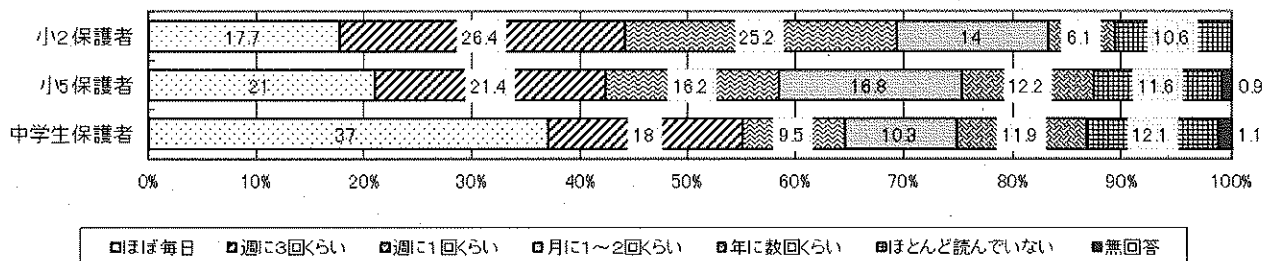
※「その他」の回答

小2保護者	小5保護者	中学生保護者
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビやゲームの方が好きだから ・集中力が無いから 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのほうが好きだから ・読む気が無いから 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームやタブレットの時間が多いから

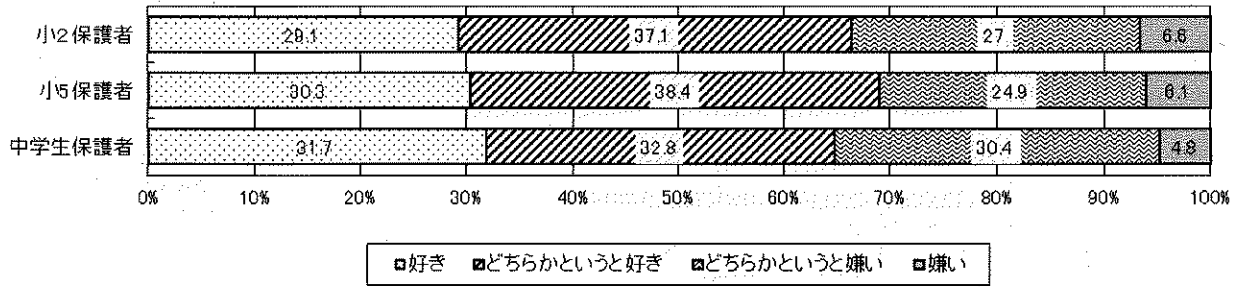
(4) ご家庭では、お子さんに本を読んであげていますか。(お子さんが小さかった頃も含めて)



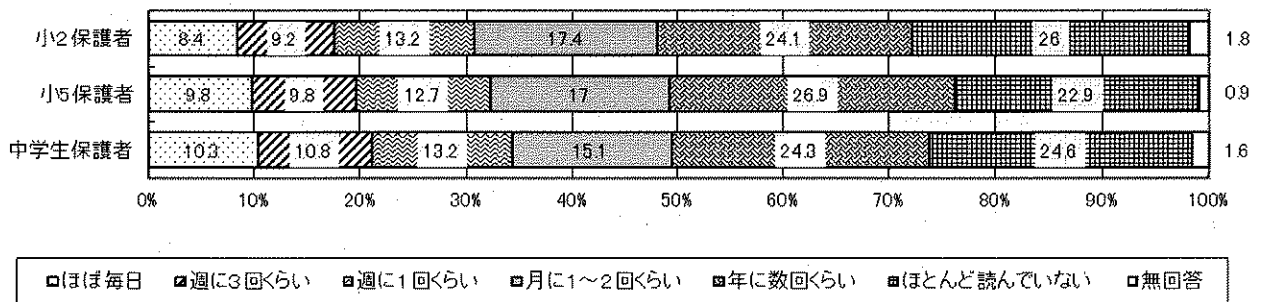
(5) あなたのお子さんは、どれくらい本を読んでいますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌は除きます。)



(6) あなたご自身は、読書が好きですか。



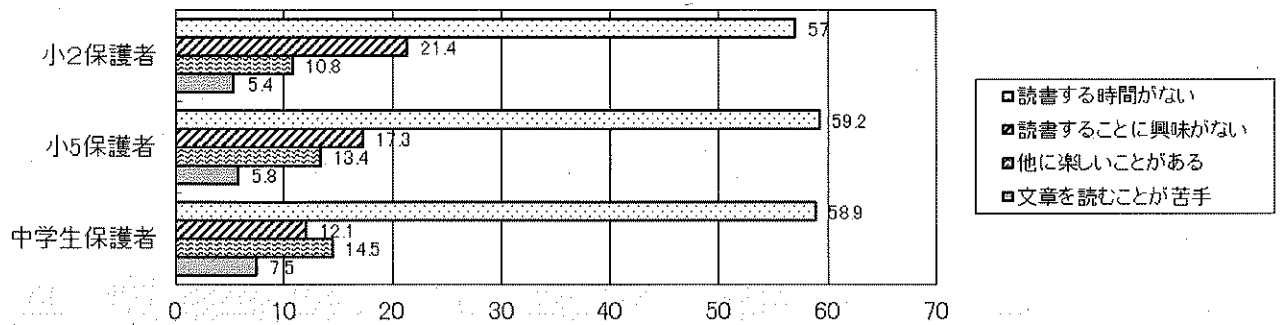
(7) あなたご自身は、ご家庭でどのくらい本を読んでいますか。



(8) (7) で「5」または「6」(※2) と回答した方にお聞きします。

その理由は何ですか。(複数回答)

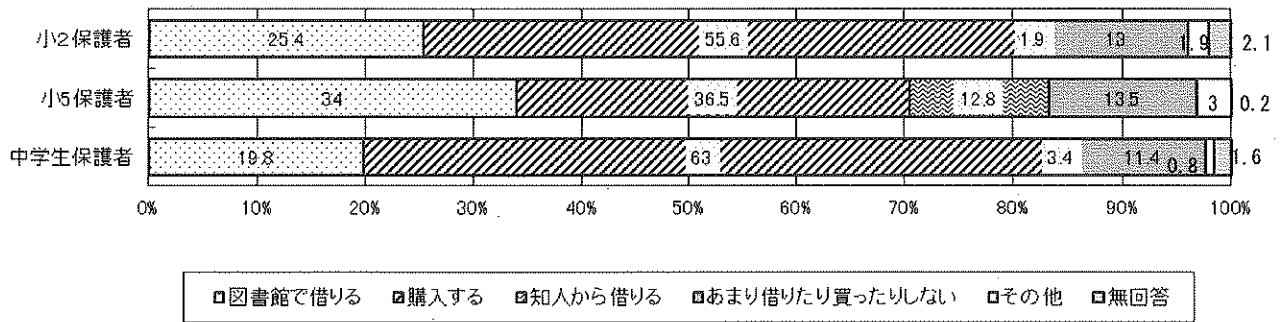
※2 5 年に数回くらい 6 ほとんど読んでいない



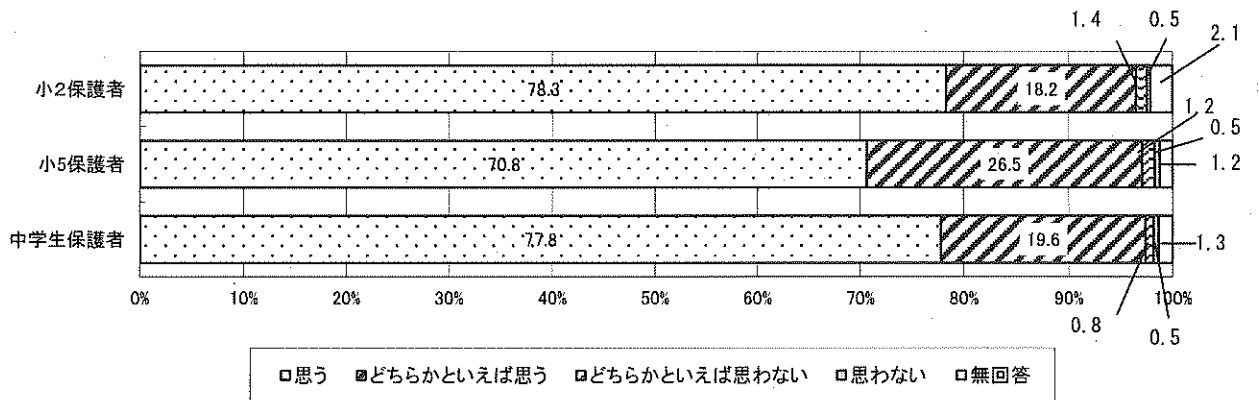
※「その他」の回答

小2保護者	小5保護者	中学生保護者
・子どもの頃から、読んでいなかったから ・面倒だから	・眠くなるから	・好きな本がないから

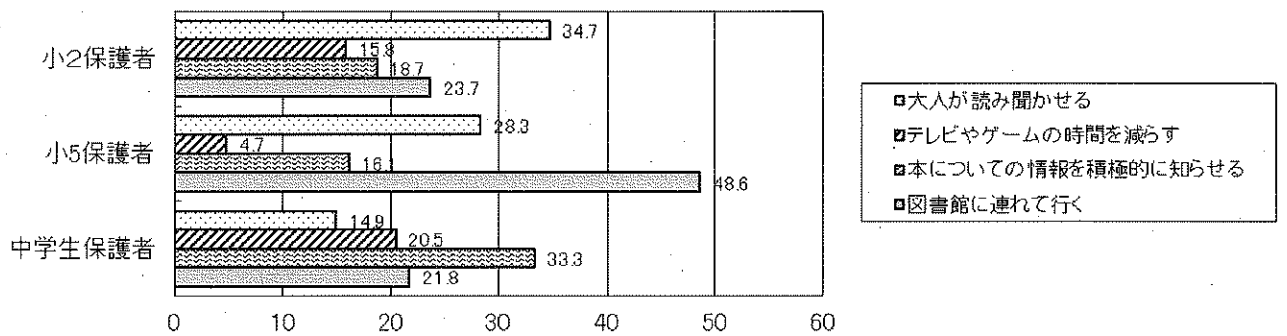
(9) あなたは、どのようにして本を入手されますか。(一番多い方法を選んでください)



(10) あなたは、本を読むことは大切だと思いますか。



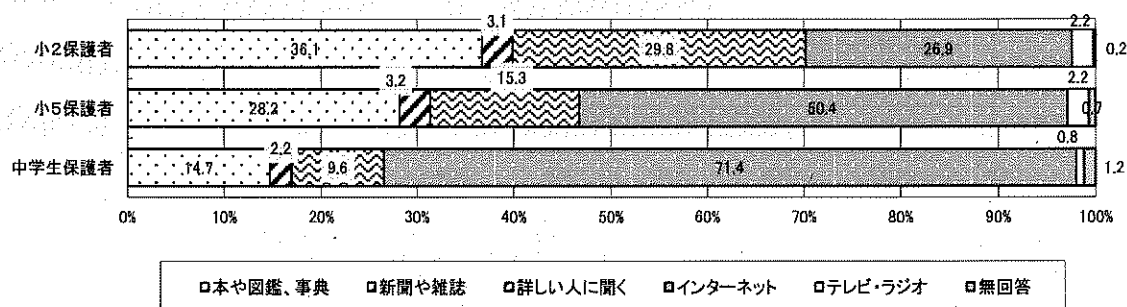
(11) どうすれば子どもたちがもっとよく本を読むようになると思いますか。(複数回答)



※「その他」の回答

小2保護者	小5保護者	中学生保護者
<ul style="list-style-type: none"> ・親がもっと本を読む ・小さい家から読み聞かせをする ・親子で本の話をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・家で読書の時間を作る ・楽しい本に出会うようにする ・家族で本を読む ・学校でも引き続き読書タイムをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人がもっと本を読む ・本の話をする ・図書館の本を充実させる

(12) お子さんは、調べたいことがあるときに何を活用しますか。



2 学校における子どもの読書活動推進に係るアンケート調査

(市内小学校12校・中学校5校実施)

(1) 読書タイムの実施状況 (平成28年9月調査)

学校種	実施状況	校数
小学校	1日あたり10～15分間 週5回実施	8
	1日あたり15分間 週2回実施	4
中学校	1日あたり10分間 週5回実施	5

(2) 特別支援学級での読み聞かせの実施状況 (平成28年9月調査)

学校種	読み聞かせを行う人	校数
小学校	学級担任とボランティア 両方	5
	学級担任	3
	ボランティア	2
	学級担任と学校司書	1
	学級担任と学校司書とボランティア	1
中学校	学校	2
	学級担任	1
	教科担任	1
	学級担任と教科担任	1

(3) 図書主任と学校司書との連携について (平成28年8月調査)

学校種	連携の状況	校数
小学校	十分出来ている	3
	出来ている	7
	あまり出来ていない	2
中学校	十分出来ている	1
	出来ている	3
	あまり出来ていない	1

3 策定の経過

年月日	内 容
平成28年2月	・読書に関するアンケート調査実施 市内小学校5年生、中学校2年生とその保護者 市内高等学校2年生
28年3月	・策定委員会委員公募（3名）
4月	・公募委員選考委員会開催、公募委員の決定
5月30日	・第1回作業部会（第二次の成果と課題について）
6月22日	・第1回策定委員会（委員委嘱、計画策定の趣旨説明等）
6月29日	・第2回作業部会（素案づくり）
7月12日	・第2回策定委員会（推進計画素案協議）
8月 4日	・第3回作業部会（計画案づくり）
9月 9日	・第4回作業部会（計画案づくり）
10月13日	・第5回作業部会（計画案づくり）
11月 2日	・第3回策定委員会（計画案の決定）
11月24日	・策定委員会会長から教育長へ計画案の提出
12月 1日～ 平成29年	・パブリックコメントの実施
1月 5日	
1月11日	・第6回作業部会（パブリックコメント取りまとめ）
2月	・パブリックコメントの結果公表
2月24日	・定例教育委員会会議で推進計画決定

4 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項に基づく子ども読書活動推進計画の策定にあたり、その検討を行うため、四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は、子ども読書活動推進計画の策定にあたり、市民意見の取りまとめを含め必要な事項についての協議、検討を行い、同計画の案を作成し、教育長に報告するものとする。

(組織)

第3条 策定委員会は、委員13人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから四街道市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 教育に関する学識経験を有する者 1人
- (2) 小学校又は中学校の校長又は教頭 1人
- (3) 小学校又は中学校の教員 2人以内
- (4) 幼稚園及び保育園（所）の教諭又は保育士 2人以内
- (5) 図書館協議会委員 1人
- (6) 社会教育委員 1人
- (7) 行政関係者 2人以内
- (8) 公募により選出された市民 3人

3 教育委員会は、前項の規定により委員を委嘱するときは、原則として9人を超えて一方の性で占めないように努めるものとする。

4 委員は、前条に規定する報告が終了したときに、解嘱されるものとする。

(会長等)

第4条 策定委員会に会長及び副会長をそれぞれ1人置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、策定委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 策定委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会議において議決すべき案件があるときは、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。

4 策定委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、会議に出席を求め、意見を聴くことができる。

(補助組織)

第6条 策定委員会に補助組織として、作業部会を設置する。

- 2 作業部会の長は、指導課長の職にある者とし、部会員は、別表1に掲げる所属の者をもって充てる。
- 3 作業部会は、計画の策定に関する資料収集、素案作成等を行うほか、特に部会長が必要と認めた事項について調査検討する。
- 4 作業部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 5 部会長に事故あるとき又は欠けたときは、部会長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(庶務)

第7条 策定委員会の庶務は、教育委員会指導課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営等に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成28年1月11日から施行する。
- 2 第3条第2項の規定による委員の委嘱後最初に開かれる会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

別 表 1

(作業部会)

役 職	所 属 課
部会長	指導課長
部会員	指導課 (2名)
	図書館 (1名)
	社会教育課 (1名)
	保育課(1名)
	健康増進課 (1名)

5 四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会委員名簿

氏名	選出区分	備考
渡辺 暢恵	学識経験者	副会長
矢田部 佳澄	小中学校の校長又は教頭	会長
佐々木 映理子	小中学校の教員	
小川 優	小中学校の教員	
水野 由紀子	幼稚園及び保育園（所）の教諭又は保育士	
湊 洋子	幼稚園及び保育園（所）の教諭又は保育士	
仲 公恵	図書館協議会委員	
千葉 かおり	社会教育委員	
竹内 俊也	行政関係者	
笹岡 良雄	行政関係者	
関野 真紀	市民	
西田 知巳	市民	
安井 広子	市民	

6 策定に係る教育委員会内部組織

(1) 四街道市教育委員名簿

職名	氏名
委員長	荻津 雅史
委員長職務代理者	田中 友季子
委員	府川 雅司
委員	須郷 恭子
委員（教育長）	高橋 信彦

(2) 作業部会名簿

職 名	氏 名
教育委員会 指導課 課長	笹岡 良雄
教育委員会 指導課 主幹	伊藤 友江
教育委員会 指導課 指導主事	福田 薫
教育委員会 社会教育課 主査補	齋藤 泰子
市立図書館 主査	阿部 祐子
健康増進課 副主幹	山崎 由佳子
保育課 副主査	杉山 理絵

(3) 事務局

職 名	氏 名
指導課 課長	笹岡 良雄
指導課 主幹	伊藤 友江
指導課 指導主事	福田 薫
指導課 指導主事	池田 覚

四街道市子ども読書活動推進計画（第三次）

～読書で拓く 子どもの未来～

発行／平成 29（2017）年 3 月

四街道市教育委員会 指導課

〒284-0003 四街道市鹿渡 2001-10

TEL: 043-424-8925

FAX: 043-424-8923

四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱（案）

（設置）

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条第2項に基づく子ども読書活動推進計画の策定にあたり、その検討を行うため、四街道市子ども読書活動推進計画策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 策定委員会は、子ども読書活動推進計画の策定にあたり、市民意見の取りまとめを含め必要な事項についての協議、検討を行い、同計画の案を作成し、教育長に報告するものとする。

（組織）

第3条 策定委員会は、委員13人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから四街道市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 教育に関する学識経験を有する者 1人
- (2) 小学校又は中学校の校長又は教頭 1人
- (3) 小学校又は中学校の教員 2人以内
- (4) 幼稚園及び保育園（所）の教諭又は保育士 2人以内
- (5) 図書館協議会委員 1人
- (6) 社会教育委員 1人
- (7) 行政関係者 2人以内
- (8) 公募により選出された市民 3人

3 教育委員会は、前項の規定により委員を委嘱するときは、原則として9人を超えて一方の性で占めないように努めるものとする。

4 委員は、前条に規定する報告が終了したときに、解嘱されるものとする。

（会長等）

第4条 策定委員会に会長及び副会長をそれぞれ1人置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、策定委員会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 策定委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。
- 3 会議において議決すべき案件があるときは、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 策定委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対し、会議に出席を求め、意見を聴くことができる。

(補助組織)

第6条 策定委員会に補助組織として、作業部会を設置する。

- 2 作業部会の長は、指導課長の職にある者とし、部会員は、別表1に掲げる所属の者をもって充てる。
- 3 作業部会は、計画の策定に関する資料収集、素案作成等を行うほか、特に部会長が必要と認めた事項について調査検討する。
- 4 作業部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。
- 5 部会長に事故あるとき又は欠けたときは、部会長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(庶務)

第7条 策定委員会の庶務は、教育委員会指導課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営等に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

- 1 この要綱は、令和3年1月20日から施行する。
- 2 第3条第2項の規定による委員の委嘱後最初に開かれる会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

別 表 1
(作業部会)

役 職	所 属 課
部会長	指導課長
部会員	指導課 (2名)
	図書館 (1名)
	社会教育課 (1名)
	保育課(1名)
	健康増進課 (1名)

